

32-173

文學士天野為之著

徵兵論全

東京書林 東洋館發兌

定價金三拾五錢

徵兵論序

余嘗著國憲

汎論就中論兵役之事曰兵役世

人之所忌而

議論之所在也然以余觀之則是

非可忌之事

而寧可榮者也夫國家之本務在

保護其民而

置常備之軍兵備公敵之侵掠者

國家本務之一大至要也論者或曰兵者自由之仇讐也貴自由之國不宜養兵是知其一而未知其二之言耳夫戰者凶事也吾人固不可好之但奈何時未黃金之時人未完全之人即

是濁世、則勢不得不以兵防禦自由之災害也、  
是所以要常備之軍兵、而徵兵之令、不得不布  
之也、論者、又議驅年少之子弟、而服兵役、爲傷  
夫人、以鳴徵兵令之非、然、是不必然、設令有此  
弊、方今之時、置常備之軍兵、護國土之安寧、勢  
之不可爭者、兵豈得徵募之哉、況至舉兵權、而  
不委之於一二之種族、分與之於天下之人衆、  
則關民權之消長甚大乎、是以海內皆兵之制、  
吾人寧可榮之、豈又有忌之之理哉、是、余之素

論耳、非敢諛政府也、頃日、友人天野、松村、著徵  
兵論、囑余序、乃書之、以還、

明治十七年二月仲浣、東洋學人、源梓 撰

小引

改正徵兵令一タヒ出タルノ後チ人相集マ  
レバ談必ラス此事ニ及フ是實ニ今日ノ大  
問題ナリ然レトモ余未タ本邦ノ識者ニシ  
テ書ヲ著ハシテ大ヒニ之ヲ論シタル者ア  
ルヲ聞クヲ稀ナリ豈ニ本邦人民ノ不幸ナ  
リト云ハサル可ケンヤ余竊ニ之ヲ歎ス乃  
チ一書ヲ著ハシ名ツケテ徵兵論ト曰フ蓋  
シ優勝劣敗ノ現乾坤ニアリテハ徵々タル

小冊子モ亦タ或ハ世ニ益スル所ナクンバ  
アラス然レトモ余カ此著アル所以ハ必ラ  
スシモ各論名語以テ大方ヲ動カサントス  
ルニアラス却テ君王ヲシテ死馬ノ骨ヲ買  
ハシムルノ意ニ出ツルナリ請フ大方ノ士  
君子怒ツテ而シテ之ヲ棄ツルアルナクン  
バ是レ啻ニ著者ノ幸ナルノミナラス亦タ  
將サニ本邦ノ幸トナラントスト云爾

明治十七年二月

天野爲之謹識

徵兵論

天野爲之述

那破烈翁ボナバルト嘗テ兵ヲ卒ヒテ埃及ヲ攻メ途ナイル江上ニ出ツ  
乃チ双眸ヲ放チ遙カコ天ノ一方ヲ望ムニ渺タル沙漠ノ中心ニ當リテ  
三菱形ノ孤立スルアルヲ見タリ顧ミテ左右ニ語リテ曰ワク夫レ世ノ  
傳フル所ニ因レバ埃及ノ三菱形タル眞ニ是レ往古ノ埃及國王ガ幾万  
ノ人夫ヲ驅役シ幾万ノ財寶ヲ擲棄シテ始シメテ築造シタル所ナリ其  
形ノ巨大ナル人ヲシテ殆ント其ノ人工ニ成レル乎將タ又タ鬼神ノ手  
ニ成レル乎ヲ疑ワシムル者アルナリト云フ然リ而シテ今余レ之ヲ望  
ムニ何ソ其形ノ小ナルヤト其言未タ畢ラサルニ前軍ハ已ニ陣シテ三  
菱形ノ麓ニアリ是ニ於テ乎那破烈翁ハ始メテ釋然三菱形ノ巨大ナル  
ヲ覺リ併セテ世ノ傳フル所未タ遽カニ難ス可カラサル者アルヲ知レ  
リ蓋シ三菱形ハ一塊ノ死物ナリ豈ニ乍ニシテ大トナリ又乍チニシテ

小トナルアランヤ然ルニ彼カ前ニ之ヲ視テ以テ小ナリトナシ後チニ  
 之ヲ見テ以テ大ナリトナシタルハ何ニ因ル乎他ナシ前ニハ三菱形獨  
 リ白沙渺茫ノ中ニ立ツノミニシテ其近側由テ以テ其大小ヲ比較ス可  
 キノ物ナシ故ニ其レ大ナリト雖トモ顯ワサルナリ後ニハ那破烈翁ノ  
 前軍ハ已ニ陣シテ其麓ニアリ則チ之ニ由テ以テ三菱形ヲ比較シ始メ  
 テ能ク人類ノ極メテ小ニシテ三菱形ノ甚タ大ナルヲ覺レルニ出ツル  
 ノミ此事ヤ素ヨリ瑣々タル一小事ナリト雖トモ以テ大ニ喩フ可シ凡  
 ソ事ノ利害得失ヤ物ノ大小輕重ヤ人ノ賢愚強弱善惡ヤ位ノ貴賤尊卑  
 ノ如キ方ノ上下左右東西南北ノ如キ術ノ巧拙而ノ黃白土ノ肥瘠ト寒  
 暄トノ如キハ人皆ナ實際ニ於テ彼ト此トヲ觀察シ彼ト此トヲ比較ス  
 ル所アリテ始メテ釋然覺悟スル者アルナリ想フニ我國ノ如キハ泰西  
 諸邦ト交通スル今日ニ始マルニアラス然レトモ其交通ヤ今日ノ如ク

夫レ近密繁擾ナルハ未タ嘗テ聞カサル所トス故ニ昔日ニアリテハ我  
 邦人ニシテ超衆ノ見識アルモノハ我ハ大日本帝國ノ外別ニ富強ノ諸  
 國アリテ偷カニ我ヲ窺窺スルアルヲ洞察シタルナルベシト雖トモ然  
 レトモ我國ヲ以テ四海無双ノ富強國トナセル者滔々皆ナ是レナリ假  
 令間々泰西ノ事情ヲ傳聞シテ其文ト武トハ同シク我ニ勝ルアルヲ知  
 了スル者アリト雖トモ其感覺ヤ漠々然タルカ故ニ人ヲシテ切ニ我カ  
 小ヲ悟リ彼ノ大ヲ覺ラシムルニ足ラサルナリ彼ノ我ニ於ケルモ亦タ  
 然リ彼ノ邦人ニシテ我カ日本アルヲ知ル者ハ之ヲ學者識者ニ就イテ  
 求ムルモ蓋シ百中ノ一二ナリキ往々本邦ノ事情ヲ評論シタル書アリ  
 タリト雖トモ其說ク所ハ大概本邦ヲ評シ武ニ於テ文ニ於テ甚タ畏ル  
 可キノ國ナリトナシタルモノ、如シ然ルニ今日ニアリテハ彼我ノ交  
 際益ス近密繁擾ナルヲ以テ我能ク我ガ文ト武トハ彼ニ比スレハ大ヒ

ニ劣ル所アルヲ知レリ而シテ彼セ亦タ其文ト武トハ我ニ比スレハ甚  
 タ進ム所アルヲ知リ其極彼ガ眼中又將サニ大日本無カラントスルニ  
 至レリ恰カモ夫ノ那破烈翁ガ前ニハ三菱形ノ大ナルヲ覺ラヌ後チニ  
 至リテ始メテ之ヲ覺リタルカ如シ若シ三菱形ヲシテ活物ナラシメハ  
 彼モ又始メハ人類ノ小ニシテ自己ノ甚タ大ナルヲ悟ラサルモ其後相  
 近ツクニ及ンテ始メテ之ヲ悟リシナラン然レトモ三菱形ヤ固ヨリ一  
 塊ノ死物ナリ其大ト小トハ人ニ於テ何ニカアラン獨リ歐州諸國カ文  
 ニ於テ武ニ於テ遙カニ我カ右ニ出ツルノ事ニ至リテハ吾人カ大ヒニ  
 慮ハカラサル可カラサル所ナリトス何トナレバ今日ノ世界ハ猶ホ是  
 レ禽獸ノ世界ニシテ道德ノ世界ニアラサレバナリ啻ニ道德ノ世界ニ  
 アラサルノミナラス猶ホ未ダ法律ノ世界タルヲ得ザレバナリ但シ世  
 ニ萬國公法ナル者アリト雖トモ此物ヤ蓋シ死物ニシテ唯タ此ノ如ス

ベシ此ノ如ク可カラサルナリノ命令ヲ拾集シタル者ノミ故ニ國アリ  
 一旦暴戾ノ行チシテ以テ此法ヲ蔑如スル者アリト雖トモ公法自ラ鼓  
 チ鳴ラシテ之ヲ攻ムルヲナサノルナリ言チ易ヘテ之ヲ云ヘバ公法ハ  
 死物ナルカ故ニ人カチ須チテ而シテ後チ行ナワル、者トス然リ而シ  
 テ天下ノ強國ハ同心戮力シテ以テ公法ノ罪人ヲ懲罰スルチ是レ勉ム  
 ル手抑モ亦タ彼自ラ之ニ戻リテ而シテ自己ノ榮利ヲ謀ルアルナキ乎  
 ノ問題ハ未タ容易ニ答フ可カラサルカ故ニ萬國ノ公法ヲ恃ンテ以テ  
 自ラ安スルハ則チ恃ム可カラサル者ヲ恃ム者ト云フ可シ此事タル讀  
 者ノ既ニ己ニ熟知スル所ナラン故ニ余ハ茲ニ不禮不祥ノ文字ヲ連子  
 肅殺慘憺ノ事實ヲ舉ケテ以テ之ヲ証スルノ要ナシ必竟スルニ兵力ノ  
 大ナル者ハ兵力ノ小ナル者ヲ併呑混一スルノ志アル天下皆ナ然ラサ  
 ルナシ而シテ今日歐州ニアリテ戰亂干戈ノ事ナキ所以ハ是レ決シテ

民人カ戦争干戈ヲ嫌惡スルニ出ツルニアラサルナリ唯タ夫レ互ヒニ  
 相窺窺シ互ヒニ相警戒シテ隙ノ乘ス可キナキカ爲メノミ豈ニ深カク  
 慮ハカラサルヲ得ン乎然レトモ人啻ニ之ヲ慮バカリテ之ヲ救フノ策  
 ナ講セスンバ是レ全然慮ル所ナキト相去ル幾クモナキナリ故ニ生チ  
 日本ノ國土ニ享クル者ハ皆ナ勉メテ之ニ處スルノ計ナサ、ル可カ  
 ラサルナリ蓋シ之カ計策タル固ヨリ一ナラスト雖トモ夫ノ兵力ヲ養  
 フテ以テ本邦ノ獨立ヲ保維スルノ事ハ夙ニ學士識者ノ唱導スル所ナ  
 リト信ス然リ而シテ夫ノ軍器ヲ改良シ或ハ軍術ヲ進歩スルハ想フニ  
 夫レ兵力ヲ養フノ一大手段ナリトス然レトモ軍器ト軍術トハ素ヨリ  
 人ヲ須チテ始メテ其功アルナリ故ニ人ヲシテ此術ニ熟スル愈ヨ深カ  
 ラシメ人ノ此術ニ熟スル者ヲシテ愈ヨ多カラシムルハ則チ武力ヲ養  
 成スル所以ノ一手段ニシテ今日ノ時勢又已ムヲ得サル所トス此事モ

亦タ同シク世人ノ主張スル所ナリト信ス然レトモ其方法ニ至リテハ  
 論スル者各々一ナラス是レ余カ徵兵論ヲ草シテ方法ノ害最モ少ク利  
 最モ大ナル者ヲ指點シテ大方ニ質サントスル所以ナリ

### 右 總論

凡ソ徵兵ノ制度ハ各國互ヒニ相同シカラサルヲ以テ其種類ヤ實ニ千  
 萬無量ナリトス故ニ今若シ一々之ヲ説明スルアラバ言往々煩擾ニ涉  
 リ讀者ヲシテ了解ニ困ルシマシムルノ憂アリ然レトモ茲ニ説論ノ利  
 便ヲ謀リ試ロミニ之ヲ大別スレバ則チ僅々二三種ノ外ニ出テサル者  
 ノ如シ

一ニ曰ク自由制度即チ男子カ兵役ニ入ルト入ラサルトハ之ヲ人々  
 ノ自由ニ一任スルノ制度是レナリ蓋シ此制度タル千八百十四年前ノ  
 獨國ニアリテ行ナワレ今日ノ大英國並ヒニ其所領ノ諸國ニ於テ行ナ



ワル、者ニシテ世人ノ謂ワユル英制ナル者ナリ  
 ニニ曰ワク強迫制度即チ男子カ兵役ニ就クハ素ヨリ人々ノ義務ニシ  
 テ免カル可カラサル所トスル者則チ是レナリ然リ而シテ此制度ヲ再  
 別シテ二種トナス一ニ曰ワク制度ノ名ハ強迫ナリト雖トモ免除ノ特  
 令ヲ設クル甚タ多キ者是ナリ抑モ此制度ハ千八百七十年以前ノ佛國  
 壤國伊國等ニアリテ行ナワレタリ又今日ノ土爾古、ブラシル、伯爾義等  
 ニアリテ行ナワル、所ニシテ世人ノ謂ワユル佛制ナル者ナリ二ニ曰  
 ワク免除ノ特令ヲ設クル甚タ少ナキ者是ナリ蓋シ此制度タル今日ノ  
 魯國、宇國、米國、瑞國、伊國、佛國、壤國ニアリテ行ナワル、所ニシテ今又將  
 サニ我邦ニアリテ行ナワレントスル所ナリ世人之ヲ稱シテ孛制ト呼  
 フ者ノ如シ

夫レ斯クノ如ク假令徵兵ノ制度ハ万国各々一ナラスト雖トモ之ヲ大  
 別スレバ英制ト佛制ト孛制トノ三種ノ外ニ出テサルナリ請フ吾人ハ  
 先ツ第一種ノ制度即チ所謂英制ニ就イテ論評ヲ下タスアラントス  
 夫レ自由制度ナル者ハ今ヤ獨リ大英政府ノ治下ニアリテ行ワル、者  
 ノ如シ然リ而シテ余熟ラ之ヲ大英國、東印度等ノ實例ニ照ラシテ以テ  
 此制度ノ利害得失ヲ按スルニ抑モ此制度タルヤ之ヲ財政上ヨリシテ  
 觀ルモ之ヲ兵力上ヨリシテ察スルモ之ヲ政治上ヨリシテ見ルモ之ヲ  
 交際上ヨリシテ考フルモ議ス可キ所甚タ多シトス  
 第一財政上ヨリシテ之ヲ論スルアラソ凡ソ此制度ニ從ヘバ人ノ兵役  
 ニ就クト就カサルトハ是レ全タク人々ノ欲スル所ノマ、ナリ故ニ政  
 府ニシテ苟クモ兵員ヲ募集セントスルヤ必ラス先ツ世間相當ノ給料  
 ヲ附與スルヲ約シ而シテ始メテ之ヲ兵役ニ誘フヲ得ルナリ恰カモ湯  
 屋渡世ノ者カ俗ニ謂ワユル三助ナル者ヲ雇ヒ米ヲ賣ル者カ謂ワユル

米搗キナル者ヲ雇フト一般ナリ若シ雇主ノ與フル所以テ三助或ハ米搗キナル者ヲ満足セシムルニ足ラサラン乎三助ヤ米搗ヤ皆ナ快々然トシテ去ラントス又タ若シ政府ノ給スル所ハ以テ人ヲ引イテ兵役ニ入ラシムルコ足ラストナサン乎人ノ募集ニ應スル者ナク皆ナ他ノ利得多キ事業ニ就イテ労働スルアラントス故ニ果シテ此ノ如キノ場合ニ陥ヒルアラバ勢ヒ其給料ヲ増加シテ之ヲ雇ワサル可カラサルナリ想フニ英國ノ如キニアリテハ人ノ兵役ヲ視ルヤ以テ一種ノ義務トナサ、ルナリ以テ一種ノ課税ナリトナサ、ルナリ唯タ之ヲ以テ一種ハ職業トナス者ノ如シ又人ノ兵士ヲ見ルヤ以テ一種ノ職工トナス者ノ如シ是故ニ若シ兵役ヲ以テ自己ノ職トナス者ガ文化ノ進歩スルニ從ツテ世人ノ尊敬ヲ受クル益ス夫レ甚シキアラバ其給料ヤ愈ヨ益ス下落ス可シ何トナレバ人ノ欲スル所必スシモ富貴ニアラス或ハ功名ニ

志サシ或ハ道ニ志サスヲ以テ若シ兵士ノ名譽ニシテ愈ヨ盛隆ナルニ至ラバ或ハ其給料ノ他ノ事業ニ比シテ甚タ少ナキヲモ顧ミス唯タ兵士タルノ名譽ヲ欲スル爲メニ兵役ニ入ル者アル可ケレバナリ然リト雖トモ事實ニ就イテ之ヲ見ルニ今日ノ時世ニアリテハ治世ハ夫レ多ク亂世ハ夫レ少ナシ亂世ハ夫レ少ナシ故ニ人皆ナ治ニアリテ而シテ亂ヲ忘ル矣彼已ニ亂ヲ忘ル故ニ兵士ノ尊重ス可キヲ忘ル兵士ノ尊重ス可キヲ忘ル故ニ平居無事ノ時ニアリテハ兵士ノ名譽ハ衰フルアリテ而シテ盛ナルアラサルナリ其情已ニ斯クノ如シ是ヲ以テ政府ハ人民ヲ募集シテ兵役ニ入ラシメントスルヤ年ニ從ツテ其給料ヲ増加セサルヲ得サルノ必要アルガ如シ次ニ凡ソ此ノ如キノ國ニアリテハ乍チニシテ兵營ニ入り又乍チニシテ兵營ヲ出ツル者蓋シ之レアラソ然レトモ久サシク兵營ニアルノ人ハ皆ナ之ヲ以テ一種ノ職業トナシ之

ニ因テ以テ一生涯ノ生計ヲ立テノヲ欲スル者ナリ故ニ此ノ如キノ  
 人ハ假令其期已ニ滿チテ方サニ兵役ヲ脱スルアリトスルモ政府ハ之  
 ニ與フルニ養老金ヲ以テセサルヲ得サレナリ何トナレバ政府假リニ  
 一生ノ間之ヲ養フナシトナサン乎彼ノ如キハ久サシク兵營ニアリテ  
 銃ヲ擔ナヒ馬ニ騎リ喇叭聲中ニ起臥スルノ外他ニ術藝ヲ研脩スル所  
 ナキヲ以テ晩年ニ至リ斷然其保護ヲ失フアラバ忽チニシテ糊口立命  
 ノ策ニ究シ飢餓凍餒以テ其方向ヲ誤マレルヲ悔ユルアラントス然リ  
 而シテ遙カニ之ヲ見聞スル者ハ復タ兵營ニ入ルナキニ至ラントスレ  
 バナリ是故ニ政府ハ已ムヲ得ズ巨額ノ金錢ヲ擲チテ以テ此ノ如キ人  
 ノ一生涯ヲ支保スルノ外策ナキナリ是レ此制度ガ財政上ニ於テ弊害  
 アル所以ノ二トス夫レ斯ノ如キノ理由ナルヲ以テ英國ノ兵制ハ他ノ  
 制度ニ比スレバ費用ヲ要スル最モ大ナル者ナリト云フ然シテ此費用

ヤ時ニ漸フテ愈ヨ増加スルノ傾向アルナリ但シ英國人民ト雖トモ豈  
 ニ我カ國土ヲ擁護スルノ兵士ヲ尊敬スルノ情ナカラシ乎然リト雖ト  
 モ治世ニ亂チ忘レサルハ人情ノ難シトスル所ナルガ故ニ干戈戰亂ノ  
 時ニアリテハ人皆ナ兵士ヲ尊重スルノ情ヲ起スアリト雖トモ事己ニ  
 息メバ兵士ヲ尊重スルノ情モ亦タ共ニ湮滅スルコトハ恰カモ人病ムト  
 キハ父母ヲ思ヒ病己ニ癒ユレバ又父母ヲ忘レ易キト一般ナリ又恰カ  
 モ人窮スレバ神佛ヲ祈リ事己ニ止メハ忽チ之ヲ忘レ易キト一般ナリ  
 是故ニ平生無事ノ時ニアリテハ兵士ノ名譽ハ甚タ微々タリ是レ英國  
 ノミナラス自他ノ諸國ニアリテモ亦タ然リ然ラバ自由制度ヲ施コス  
 ノ邦土ニアリテハ兵士ノ給料ハ時ニ從フテ増加スルヤ怪ムニ足ル者  
 ナカラン

第二此制度ノ弊害タル當ニ財政上ニ止マテサルナリ夫ノ兵力上ヨリ

シテ論スルモ亦々然カルアリ其故何ソ乎曰ウク吾人が上來説論シタルカ如ク兵士ノ名譽ハ平居無事ノ時ニアリテハ日ニ從ツテ衰フルアルカ故ニ僅カニ一藝ヲ挾サミ一能ヲ抱キ以テ天下ニ立ツテ得ル者ハ誰レカ好シテ兵營ニ入ルヲナサン乎唯夫ノ智識ナク藝術ナク又タ財產ナキノ人民アリテ兵役ニ就クノミ是ヲ以テ現在兵營ニアルモノ、如キハ大概皆ナ無智不徳ノ小民ナリ是レ此制度ガ兵力上ニ於テ要害アル所以ノ一ナリ但シ智識ヲ有スルト否ラサルトハ兵士ノ武力ヲ大小ニスルアルハ讀者カ余カ喋々ヲ須タスシテ知ル所ナランカ蓋シ今日ノ戰術ハ昔日ノ戰術ニ異リ極ワテメ單純簡易ニアラサルナリ之ヲ各國ノ歴史ニ徵スルニ文化大ヒニ振フノ處武力モ亦々從ツテ振ヒ文化ノ振ワサル所ハ武力ノ振ワサル所ナリ實ニアストラリヤ人ノ如キハタスマニア人ノ如キニ<sup>ニ</sup>シラント人ノ如キ亞米利加印度人ノ如キハ

白人ノ侵撃ニ逢ヒ相率ヒテ消滅ニ歸スル恰カモ秋風ノ枯葉ヲ卷キ春陽ノ河水ヲ照ラスカ如シ是レ則チ戰爭ノ術ガ文化ト共ニ改良進歩スルアリテ愈ヨ繁雜緻密ノ域ニ入ルカ故ナリ然リト雖トモ術ナル者ハ兵士其人ヲ得テ始メテ其功アルナリ然ルニ今マ繁雜緻密ノ戰術ヲ把リテ之ヲ目ニ一丁ノ文字ナク曾ニ一國ノ智識ナキ者ニ授ケ以テ其功績ノ擧ランコト期スルモ蓋シ甚タ難タシ眞ニ之ヲ教授スルノ士官下士官ノ功勞ハ得テ而シテ推測スベキナリ次ニ一國若シ此制度ニ從フアラバ勢ヒ全國ヲ擧ケテ兵トナスヲ得サルナリ其理他ナシ政府苟クモ能ク非常ノ費用ヲナスニアラスンバ千万人ヲ誘フテ以テ兵役ニ就カシムル能ワサレバナリ己ニ國ヲ擧ケテ兵ヲシムルヲ得スンバ萬國ノ間ニ立チテ其獨立ヲ全フスルハ蓋シ甚タ易カラサル者アラントス何トナレバ今日ノ兵情ハ昔日ノ兵情ト相異ナルアリテ塙ヤ伊ヤ魯

ヤ米ヤ佛ヤ伊ヤ李ヤ制度ハ之ヲ全國軍ニ取り主義ハ之ヲ衆壓多ニ取ル但シ彼レ若シ此ノ如セハ爲メニ或ハ其文事ヲシテ幾分カ踴躍スル所アラシメシ然レトモ四鄰己ニ之ヲ忍ンテ武備ヲ張ルアラハ我モ亦タ之ニ應シテ全國軍ノ制ヲ採ラサル可カラス是ヲ此レ察セス兵ハ兇器也戰ハ惡徳ナリ兵士タル者ハ人民ノ一部分ニシテ足レリ自他ノ人民ハ皆ナ文ニ從フヲ可トスト言フ者アラハ是レ眞ニ其邦土ヲ把リ之ヲ万仞ノ懸崖ニ置クト一般ナリ亦危ヒカナ然リ而シテ國今マ自由ノ制度ニ從フアラハ全國ヲ舉ケテ兵役ニ入ラシムル能ワサルカ故ニ其兵力ヲ養成スルハ蓋シ又難タシ是レ此制度兵力上ニ於テ弊害アル所以ノ二ニシテ讀者ノ了解スル所ナリト信ス然レトモ讀者猶チ之ヲ疑フアラハ請フ吾人が後章ニ於テ之ヲ説クヲ聞ケヨ

第三然リ而シテ此制度タル獨リ兵力ト財政トノ二點ニ於テ議ス可キ

者アルノミナラス交際上ヨリシテ見ルモ亦タ然ルアリ凡ソ人ノ兵營ニ入ルヤ其ノ受クル所ノ法律ヤ條例ヤ自カラ尋常ノ法律條令ト相異ナラサルヲ得サルナリ是故ニ久サシク兵營ニアリテ銃馬ヲ以テ一生涯トナス者ハ尋常人ヲ視ル恰カモ維新以前ノ武士ガ農工商ヲ視ルカ如クニシテ胡越ノ情モ畜タナラサルニ至ラントス蓋シ兵ナル者ハ一國ノ由テ以テ其幸福ト安寧トヲ保護スル所ナリ然ルニ若シ此兵ヲシテ尋常人ヲ視ルヲ猶ホ越人ノ秦人ニ於ケルカ如クナラシメバ何ソツ知ラシ此兵士ガ公衆ノ幸福ヲ進ムル所以ノ器械ヲ濫用シテ以テ之ヲ妨ケ公衆ノ讎敵ヲ征スル所以ノ軍隊ヲ濫用シテ以テ私利ヲ謀ルノ手段ニ供セサルヲ

第四政治上ヨリシテ見ルモ亦タ然ル者アリ想フニ自由制度ヲ施コスノ國ニアリテハ一旦兵營ニ入ル者ハ復タ出テ、人間ニ還ルナシ方サ

ニ銃馬ヲ以テ其生涯トナサントス故ニ武人ハ常ニ武人ニシテ文人ハ常ニ文人ナリ是ヲ以テ英制ナル者ハ甚タ大ヒニ定置軍ノ制度ニ類シテ其弊害モ亦タ定置軍ノ弊害ニ似タル者ノ如シ余レ之ヲ萬國ノ歴史ニ觀ルニ何ノ國ヲ問ワス其創始日猶ホ淺キノ時ニアリテハ文武一途ニシテ海内皆ナ兵ナリ故ニ事アラバ人皆ナ兵トナリ事無クンバ則チ兵皆ナ歸ッテ尋常人タルヲ以テ常トナスカ如シ此ノ時ニ當リテヤ假令ヒ武人ノ出ツルアリテ農ヤ工ヤ商ヲ壓倒セントスルモ兵士ト尋常人トハ素ヨリ一ニシテ而シテ二ニシテ而シテ一ナルヲ以テ決シテ其野心ヲ逞フスル能ワス否ナ之ヲ逞フスルヲ欲セサルナリ何トナレバ兵士ト尋常人トハ同一ノ人物ナルカ故ニ兵以テ尋常人ヲ壓スルハ之レ自ラ壓スルニ異ナラサレバナリ降りテ後世ニ至リ人文愈ヨ進ミ文化益ス行ナワレ軍器ハ日ニ從ツテ精良ニ軍術ハ月ヲ逞テ高尙ナル

ニ至レリ是ニ於テ乎或ハ精良ノ軍器ヲ購求スルノ力ナキカ爲メニ或ハ高尙ノ軍術ヲ學フノ餘暇ナキカ爲メニ万人舉ツテ兵士タルヲ得ス方サニ兵事ヲ以テ一部少數ノ專業トナシタリ夫レ斯クノ如ク一旦武人ト尋常人トハ畫然相岐ル、ノ後チハ分業ノ法則ニ從カヒ農ハ愈ヨ農ニ工ハ愈ヨ工ニ商ハ愈ヨ商ニ武士ハ愈ヨ人ヲ殺スノ術ニ工ミニシテ始メテ武斷政治ノ事起レリ顧ミテ中古ノ歐洲ヲ見ルニカスチルノ如キアラゴンノ如キ瑞典ノ如キデンマルクノ如キ又夫ノ佛國ノ如キハ已ニ既ニ憲法アリ代議院アリ然ルニ近世ニ至リ其憲法ト代議院トハ皆ナ是レ武人ノ掌中ニ陷ヒリテ有名無實ノ情ヲ呈シ其人民ハ武人ノ壓制ヲ蒙ムルニ至レルハ何ニ因ル乎他ナシ始メヤ文武一途國ヲ舉ゲ皆ナ兵ナリシニ後チニ至リテヤ文武畫然トシテ別レ兵力一方ニ偏歸シタルニ出ツルナリ猶ホ本邦維新以前ニアリテ兵力ガ武門ニ偏歸

ミタルカ爲メニ我が農工商ガ武士ノ壓抑ヲ蒙ムリテ天地ニ踴躍スルニ至レルノ理由ト相異ナルナキナリ然リ而シテ夫ノ英制ハ未タ全然定置軍ト同シキニアラスト雖トモ權力ヲシテ一方ニ偏歸セシムルノ點ニ至リテハ相去ル幾クモ無クシテ其間髪ヲ容レサルナリ故ニ一國若シ英制ヲ採用シ爲メニ權力ヲシテ一部少數ノ手ニ陷ラシメバ公衆ノ安寧ト幸福トハ將サニ甚タ危フキ者アラントス蓋シ英國ノ人民ガ此ノ如キノ治下ニ立チテ安閑タルヲ得ルハ是レ千百中一ヲ望ム可キ者ニシテ甚ダ以テ通例トナス可カラサルナリ是ニ因テ之ヲ觀レバ英制ナル者ハ政治ノ一點ヨリシテ見ルモ亦タ同シク議ス可キアルニアラズヤ

右 兵制ノ區別並ヒニ英制ノ得失

以上論スル所ニ因テ之ヲ見レバ英制ノ弊害タル昭々トシテ夫レ明ラ

ニ到底今日ニ適セサル者ナルカ如シ請フ今ヤ歩武ヲ進メテ以テ強迫制度ヲ論評スルアラントス凡ソ兵制ハ之ヲ強迫ニ取ルノ國ハ甚タ多シ然レトモ其中ニ就イテ免除ノ特令ヲ設クル甚タ多キ者アリ其否ラサル者アリ余ハ先ツ其ノ否ラサル者則チ李制ヨリシテ論評スルアラントス顧フニ合衆國ノ如キスウィツルノ如キ李魯西亞ノ如キハ夙ニ此制度ヲ施コシ來レルナリ蓋シ李國ハ千八百十四年ニ至ル迄ハ自由ノ制度ヲ用ユ同年ニ及ビ始メテ強迫制度ヲ施コズニ至レリ夫ノ攘ヤ佛ヤ伊ヤ皆ナレ是レ李佛戰爭以降初メテ李制ニ則リテ其兵制ヲ改良シタル者ナリ亦タ以テ開明諸國カ他ノ長ヲ取ルニ吝ナラサルヲ知ルニ足ラン今ヤ熟ラ李國ノ兵制ヲ觀察スルニ是レ全然英國ノ兵制ト其性質ヲ異ニスルアリテ財政上ヨリシテ見ルモ兵力上ヨリシテ見ルモ政治上ヨリシテ見ルモ更ニ進ンテ交際上ヨリシテ見ルモ英制ニ勝ル幾等

ナルヲ知ラス惟フニ英國ト雖トモ自他ノ諸國ノ如ク久シカラスシテ  
 孛制ニ則リテ其兵制ヲ改良スルニ至ラントス

第一財政上ヨリシテ之ヲ論セン抑モ強迫制度ニ從ヘバ人ノ兵役ニ入  
 ルハ素ヨリ人々ノ義務ニシテ免カル可カラサル所トス是故ニ假令人  
 ノ情自ラ平穩ノ事業ヲ擇ヒ切コ馬ニ騎リ銃ヲ擔フヲ嫌惡スルアリト  
 スルモ政府ハ兵士ノ給料ヲ増加シテ以テ人民ヲ兵役ニ誘フヲ要セス  
 只タ須ラク之ヲ強イテ兵營ニ入ラシム可シ猶ホ政府ハ人民ノ欲スル  
 ト欲セサルトヲ問ワス之ヲ強イテ租稅ヲ致タサシムルカ如キナリ是  
 レ財政上ノ一利益ナリ且ツ又タ政府ハ養老金ヲ與フルヲ約シテ人ヲ  
 兵役ニ誘フヲ要セス是レ財政上ノ第二ノ利益ナリトス則チ孛制ノ陸  
 軍ハ他國ニ比スレバ其費用至リテ少ナク其兵員ハ甚タ大ナル所以ニ  
 シテ財政上甚タ宜シキ者アルナリ

第二兵力上ヨリシテ之ヲ見ルモ亦タ然リ夫レ全國ノ男子ハ盡トク兵  
 籍ニ入ルノ義務アルヲ以テ兵營ニアル者ハ啻ニ無智不徳無財產ノ小  
 民ノミニアラズシテ夫ノ富豪ノ子弟ヤ門閥ノ子弟ヤ官員ノ子弟ヤ農  
 工ノ子弟ヤ士族ヤ平民ヤ亦タ列シテ其中ニアリ夫レ斯クノ如ク有智  
 有徳ノ男子モ共ニ兵營ニアルカ故ニ隊伍ノ品格ハ自ラ高カク兵士ノ  
 性質ハ自ラ精良ナリ是レ兵力上ノ一利益ナリトス次ニ政府ハ兵士ノ  
 給料ヲ増加シ或ハ養老金ヲ與フルヲ約シテ以テ兵員ヲ募集スルノ必  
 要ナキカ故ニ全國ノ男子ヲ擧ケテ兵籍ニ就カシノ之ニ授クルニ兵術  
 ヲ以テスルヲ得ルナリ是故ニ兵士ノ員數ヤ實ニ夫レ夥タシ矣但シ兵  
 士タル者ハ久サシク兵役ニアラス僅カニ二三年ヲ經過スレバ則チ復  
 タ去リテ人間ニ皈リ或ハ農トナリ或ハ工トナリ商トナリ學者トナリ  
 僧侶トナリ官員トナリ俳優トナリ自ラ經營シテ其口ヲ糊スルアルカ



故ニ平時ニアリテハ常備軍ノ數ハ甚タ大ナリトナサス然リト雖トモ豫備後備國民護國諸軍ノ員數ハ實ニ夫レ浩大ニシテ殆ント全國ノ丁年以上ノ男兒ヲ含蓄スルナリ是ヲ以テ平生兵營ニアリテ人民ノ祖稅ニ衣食スル者ハ甚タ大ナラスト雖トモ一旦事アルニ於テハ立トコロニ幾百万ノ兵ヲ起コスヲ得ルナリ是レ兵力上ノ第二ノ利益ナリトス

第三政治上ヨリシテ見ルモ亦タ然ル者アルナリ夫レ此制度タル人民ヲシテ有事ノ日ニ際シテ兵ヲラシメ平生ニアリテハ尋常人ヲラシムル者トス是故ニ兵ト尋常人トハ固ト是レ同一ノ人民ナルヲ以テ必ラズヤ彼此相對持シテ互ヒニ胡越ノ情ヲ相ナスニ至ルノ恐レナキナリ此ノ時ニ當リテヤ維新以前ノ我日本ノ如ク又十七八世紀ノ歐洲諸國ノ如ク武事ニ熟練スルノ兵士アリテ畢生嘗テ劍ヲ學ハス銃ヲ習ワズ

正ニ婦人ノ如クナル尋常人ヲ虐クルノ事ハ得テ而シテ起ル能ワサラントス又假令二三ノ暴奸者流ノ出ツルアリテ兵士ヲ驅役シテ民人ノ自由ト權理トヲ搖動セントスルモコレ則チ人民ニ命シテ自ラ殺セヨ自ラ害セヨト言フニ異ナラサルカ故ニ決シテ其志ヲ達スル能ワサラントス亦タ以テ李國ノ兵制ハ政治上ヨリシテ之ヲ見ルモ英國ノ兵制ト日ヲ同ウシテ論ス可カラサルアルヲ知ラシ眞個ニ英國ノ人民カ自由制度ノ下ニ立チテ穩然自カラ安ニスルヲ得ルハ絶ヘテナクシテ稀レニアルノ場合ナリ若シ他ノ國民ヲシテ此ノ如キノ制度ノ下ニ立タシメバ其人民ハ決シテ枕ヲ高フシテ安眠スルヲ得サル可キナリ

第四交際上ヨリシテ見ルモ亦タ然カリ何トナレバ平生ニアリテハ人々各々其交際ノ境域ヲ異ニシテ互ヒニ相親密ナルヲ得ズ然レトモ彼レ一旦兵營ニ入ルヤ博ク天下ノ人ト相交游スルヲ得ルナリ例ヘバ平

生ニアリテハ改進黨員ハ改進黨ト相往來シテ自由黨員ト往來セズ學者ハ學者ト相交通シテ實際家ト交通セス騷客ハ騷客ト盍簪シテ俗人ト盍簪セス富人ノ貧人ニ於ケル士族ノ農商ニ於ケル華族ノ士族ニ於ケル在朝人ノ在野人ニ於ケル都人ノ鄙人ニ於ケル甲縣人ノ乙縣人ニ於ケル南方ノ人ノ北方人ニ於ケル文人ノ武人ニ於ケル甲藩人ノ乙藩人ニ於ケル其交情ヤ甚タ踈濶ニ流レ甚シキニ至リテハ相讎敵視ス其極瑣々タル小國ガ又四分五裂シテ幾多ノ獨立國ヲナスアラントス然ルト雖トモ男子皆ナ兵營ニ入ルニ及ンテハ官員ノ子弟ト農夫ノ子弟ト共ニ臥床ヲ連テ睡ムルアリ南方ノ人ト北方ノ人ト飯臺ヲ同フシテ食フアリ武人ト文人ト共ニ兵營ノ圃ヲ掃フアリ都人ト鄙人ト共ニ士官ノ靴ヲ磨クアリ富人ノ子ト貧人ノ子ト相助ケテ糧食ヲ炊シクアリ華族ノ子弟ト士族ノ子弟ト一物ハ裂キテ之ヲ食ヒ一品ハ分チテ之ヲ

用ユルアリ蓋シ右ノ理由ナルヲ以テ人一度兵營ニ入ルヤ交チ天下ノ人ニ結フヲ得ルカ故ニ平生ノ猜忌愛憎ノ如キハ蕩然地ヲ拂フテ其痕跡ヲモ留メサラントス然リ而シテ其量ハ浩々乎トシテ江海ノ如ク千種萬差ノ人民ヲ容ル、トヲ得又一國ノ人民ヲ見ル恰カモ弟ノ如ク兄ノ如クナルヲ得又一旦事アルニ際シテヤ全國ノ壯丁ハ相合シテ一トナリ相互ノ間寸毫ノ愛憎猜忌ヲ挾ムナク眞個ニ瑟琴和睦ノ全國軍タルヲ得ルニ至ルナリ豈ニ兵士ト尋常人ト其利害ヲ異ニスルカ如キアラシヤ是レ此制度カ交際上ニ於テ英制ニ勝サルノ利益ナリトス

#### 右 孛制ノ利害

以上説論シタル所ニ因テ之ヲ見レバ孛國ノ兵制タル蓋シ英國ノ兵制ニ比スレバ甚タ取ル可キ者アルヲ知ラン今ヤ更ニ進ンテ一國ガ強迫制度ヲ施コスアルニモ拘ワラス免除ノ特令ヲ設クル極メテ多キ者即

チ佛制ナル者ニ就ヒテ論スル所アラントス蓋シ千八百七十年ヲ以テ起リタル李佛戰爭ノ前ニアリテハ填ヤ佛ヤ伊ヤ皆ナ此法ヲ用ヒタリ夫ノ土兒古ノ如キブラシルノ如キ又伯爾義ノ如キハ今マ尙チ然リ試ロミニ特令ノ二三ヲ舉クレバ免役ノ料ヲ拂フ者ハ兵役ヲ免カル、アリ代人ヲ立ツル者ハ兵役ヲ免カル、アリ某々ノ學校ニ入り或ハ之ヲ卒業スル者ハ兵役ヲ免カル、アリ勅奏任官タル者ハ兵役ヲ免カル、アル等はナリ夫レ斯クノ免除ノ特令ヲ設クル甚タ多キニ於テハ假令兵制ハ強迫ナルカ故ニ李制ニ似タル者アルカ如シト雖トモ其得失ニ至リテハ李國ノ兵制ニ及ハサルヤ遠クシテ其弊害アル却ツテ大ヒニ英制ニ類スルアルナリ

第一兵力上ヨリシテ之ヲ見レバ千八百七十年前ノ佛國ノ如キニアリテハ人若シ免役料ヲ拂フチ得ハ則チ兵役ヲ免カル、チ得タリ是故ニ苟クモ其財産ニ餘裕アル者ハ免役ノ料ヲ致タシテ以テ兵役ヲ免カル、カ爲メニ富人ノ子弟ハ決シテ兵營ニ入ラサルナリ然リ而シテ此事タル一國ノ殖産愈ヨ進歩スルニ從ツテ愈ヨ行ナワレ遂ニ兵役ヲ把リテ之ヲ貧人ノ手ニ委托スニ至ルナリ是レ填比佛諸國ノ實例ニ徴シテ知ル可キナリ次ニ當時ニアリテハ某々ノ學校ニ入り或ハ之ヲ卒業スル者ハ兵役ヲ免カレタリ是故ニ才學アル者ハ皆ナ茲ニ入校シテ以テ兵役ヲ免カレタルカ爲メニ兵營ニアルモノハ大概無智無識ノ男子ナリトス次ニ當時ニアリテハ勅奏任官タル者ハ兵役ヲ免カレタリ故ニ智德以テ勅任官タリ奏任官タルニ足ルモノ皆ナ兵役ニ入ラサルチ以テ此特令モ亦タ同シク隊伍ヲシテ不德無識ナラシムルノ功能アリタリ之ニ加フルニ代人ヲ立ツル者ハ兵役ヲ免カルノ特令モ亦タ同シク兵營ヲシテ無智無識者流ノ淵藪タラシムルノ勢アルナリ何トナレバ

世ノ富アリ智アル者が大ヒニ忌避シテ其子弟ヲ送ラス又自ラ至ラサルノ兵營ニ入り甘シテ人ニ代ワリテ無識不智ノ輩ト伍ヲナス者ハ是レ蓋シ無智無識ノ小民ガ若干ノ報酬ヲ受クルヲ期スル者ノ外ニ出ツ可カラサレバナリ是故ニ兵營ニアル者ハ僅カニ全國男子ノ一部分ニシテ其ノ最モ無學不徳ノ小民トス是ニ因テ之ヲ見レバ兵士ノ員數ヨリシテ見ルモ又其性質ヨリシテ見ルモ蓋シ甚タ孛制ニ比スレバ劣ル所アリト言ワサルヲ得サルナリ

財政上ヨリシテ見ルモ亦タ然リ何トナレバ政府若シ人民ヲシテ退ヒテ自ラ例外ノ地位ニ置カシメズ進ンテ兵營ニ入ラシメントセバ則チ其養老金ヲ與ヘサルヲ得ス又在營中ノ衣食住ヲ精良ニセサルヲ得ス然リ而シテ政府果シテ之ヲナスアラバ忽チニシテ財政上ノ困難ヲ見ルヲ猶ホ英制ノ如クナル可ケレバナリ

交際上ヨリシテ見ルモ亦タ然リ此ノ如キノ陸軍ハ皆ナ是レ一種ノ人民ヨリシテ成立スルアルカ故ニ交際上ノ事ハ大ヒニ英制ノ幣害アルニ似テ而シテ孛制ノ利益アルニ似サルナリ

更ニ進ンテ政治上ヨリシテ見ルモ亦タ然カリ抑モ佛制ヲ用ユルノ國ニアリテヤ其隊伍ハ自ラ一種ノ人民ヨリシテ成立スルナリ故ニ此人ヤ時ニ或ハ公利ヲ後チニシテ私利ヲ先キニシ人民ノ由テ一國ノ安寧ト幸福トヲ進捗スルノ利器ヲ把リテ以テ之ヲ民人ノ頭上ニ擬シ其性命ト財産トノ安固ヲ動搖スルノ例ハ歷史上蓋シ少ナシトナサ、ルナリ請フ左ニ一例ヲ示メスアラントス佛國ノ政府ヤ強迫ノ制ヲ主張スルヤ早クシテ全國軍ノ主義ヲ唱導スルヤ久サシ矣然レトモ其實タル一千八百六十年前ニ當リテハ英國ノ制度ニ類セリ此時ニ當リテハ佛國ハ其陸軍ヲ利用シ一方ニ向フテハ外國ニ對シテ其獨立ヲ保持セン

一チ思ヒ又一方ニ向フテハ大ヒニ人民ヲ抑ヘンコトヲ思ヘリ是ヲ以テ  
 政府常ニ全國ヲ舉ケテ兵トナスヲ好マス力及フ所ヲ盡シテ常備軍ヲ  
 盛ニシ豫備後備ヲ弱メタリ然リ而シテ之ヲナスノ一法案ハ一面ニ向  
 ヲテハ兵役ヲ忌避スル者ヨリシテ免役ノ料ヲ取り一面ニ向ツテハ兵  
 士ノ役已ニ畢リテ今將サニ歸ラントスル者ヲ留メ之ヲ養フテ以テ再  
 役セシムルニアリタリ夫レ斯クノ如ク一度ヒ兵營ニ入タル者ハ復タ  
 人間ニ皈ラス未タ兵役ニ就カサル者ハ百方之ヲ避ケテ以テ自ラ弱フ  
 シタルカ故ニ常備ノ勢力益ス盛ンニ後備ノ力益ス弱クシ後備ノ力  
 弱クシ故ニ人民ノ性命ト財産トハ實ニ危險ノ地位ニ立テリ其理他ナ  
 シ其財産ト性命ハ畜ニ同國人ノ蹂躪ヲ蒙ルノ恐アルノミナラス一旦  
 外國ノ侵撃ニ逢フヤ微々タル常備兵豈ニ獨リ之ニ應スルノ力アラシ  
 ヤ實ニ佛國ガ李佛戰爭ニ於テ一敗地ニ塗レタル一大原因ト并ヒニ其

人民カ武人ノ抑壓ニ苦シミタル所以ハ一ハ人民カ兵役ヲ忌避シタル  
 ニ出テ一ハ其政府ガ之ヲ強イテ兵役ニ就カシメサリシニ出ツルナリ  
 是ニ因テ之ヲ見レバ千八百七十年以前ノ墮國ノ兵制又佛國ノ兵制ノ  
 如キハ之ヲ財政、兵力、交際、政治ノ四點ヨリシテ見ルモ皆ナ李制ニ比ス  
 レバ一歩ヲ讓ラサルヲ得サルカ如キナリ但シ有事ノ時ニアリテヤ國  
 民タル者ハ假令平生兵營ニ就ヒテ兵術ヲ學ブアリト學ブナシトヲ論  
 セズ皆ナ是レ同心戮力シテ以テ干戈ニ從フ可キナリ然リト雖トモ平  
 生ニ於テ同一ノ訓練ヲ受ケザル者ノ軍ハ是レ所謂ユル烏合ノ衆タル  
 ニ過ギサルナリ豈ニ同一ノ訓練ヲ受タルノ兵ト日チ同フシテ論ス可  
 ケンヤ嗚呼若シ革命戰爭ノ米人ヲシテ烏合ノ衆タラザラシメバ何ソ  
 此人民ヲシテ此ノ如キノ辛苦ヲ嘗メシメン乎又若シ李佛戰爭ノ佛人  
 ヲシテ烏合ノ衆タラザラシメハ何ソ此民ヲシテ城下ノ盟ヲナサシメ

ノ乎讀者深カク察セザル可カラス  
 今ヤ願ミテ本邦現行ノ徵兵制ヲ接スルニ蓋シ寧ロ佛制ニ類似スル者  
 アルカ如シ是レ本邦が嘗テ模範ヲ佛制ニ取リタルヲ以テナリ但シ本  
 邦が始メテ兵制ヲ佛ニ取リタルノ時ニアリテ此ノ如キノ制度未タ李  
 制ニ比シテ大ヒニ劣ルアルヲ見ズ何トナレバ當時ニアリテハ萬國大  
 抵英制若シクハ佛制ヲ施コシテ夫ノ李制ヲ取ルノ國ハ晨星ノ落々秋  
 柳ノ疎々タルニ過キサルヲ以テ也然レモ今日ニアリテハ魯ヤ佛ヤ伊  
 ヤ填ヤ字ヤ瑞ヤ皆ナ主義ヲ全國軍ニ取ルナリ之ニ加フルニ自他ノ諸  
 國モ亦タ漸ヤク之ニ則リテ其兵制ヲ改良セントス天下ノ武ヲ養フニ  
 汲々タル已ニ斯クノ如シ然ラハ則チ本邦ト雖トモ豈ニ之ニ應スルノ  
 策ヲナサスシテ可ナランヤ蓋シ吾人ノ竊カニ臆測スル所ニ因レバ本  
 邦要路ノ人ハ夙ニ此ニ見ル所アリタルナリ唯タ夫レ世上ノ事實ハ繁

雜紛擾ナルガ故ニ種々ノ障碍ノ起ルアリテ之カ進路ヲ遮斷シ爲メニ  
 改正徵兵令ヲ今日ニ及ヒ始メテ現出セシムルニ至レルナラン實ニ  
 法令ナル者ハ時世ト共ニ推移變遷セサル可カラサル也是ヲ以テ各國  
 若シ兵力ヲ養成スルカ爲メニ全國ヲ舉ケテ兵ヲラシムル以上ハ我モ  
 亦タ之ニ應スルノ策ヲナサル可カラズ然リ而シテ吾人ハ果シテ如何  
 ノ經畫ヲナシテ之ニ處スルヲ得ル乎ト問ヘバ我モ亦タ實際全國ヲ舉  
 ケテ兵ヲラシムルノ外良策アルナシ般鑑遠カラス彼ノ李國ト填國ト  
 チ見ヨ想フニ填軍一タヒサドワニ敗レテ李填ノ勝敗忽チニシテ決シ  
 佛兵一タヒメツニ敗レ重子テセダンニ敗レテ李佛ノ雌雄立チトコニ  
 定マルノ所以ハ何ニ因ル乎他ナシ填ト佛トハ有名無實ノ全國軍ヲ以  
 テ戰カヒ李國ハ則チ名實相稱フノ全國軍ヲ以テ之ニ抗シタルニ職由  
 スルノミ若シ一千八百七十年ニ當リ李ト佛トチシ同シク名實相稱フ

ノ強迫制度ヲ用ヒ從ツテ名實相稱フノ全國軍ヲ有セシメバ假令佛國ハ一タヒセザンニ敗レ一タヒメツツニ敗ル、アリトスルモ新鮮ノ佛兵ハ愈ヨ出テ、李兵ニ抗シタルナラン又若シ壤國ヲシテ李國ト兵制ヲ同シウセシメバ壤兵假令一タヒ敗チサドワニ取ルト雖トモ新鮮ノ壤兵ハ益ス出テ、李兵ニ敵シタルナラン唯タ夫レ然ラス故ニセザン、メツツノ兩擧トサドワノ一擧ハ壤ト佛トチシテ城下ノ盟ヲナサシムルニ至レルナリ同一理ニ因リ假令李兵ハサドワニ敗レ或ハセザン、メツツニ敗ル、アリトスルモ苟クモ佛壤李ノ兵制ヲシテ當時ノ如クナラシメバ新鮮ノ李兵ハ愈ヨ起リテ壤兵ト佛兵トチ擊破シタルナラン夫レ斯クノ如キノ理由ナルヲ以テ國若シ今日ノ世界ニ立チ其獨立ヲ保維セントセバ勢ヒ一國ヲ擧ケテ兵トナサ、ル可カラス是レ實ニ已ムヲ得サル所ナリトナスナリ是故ニ今般ノ改正徵兵令ニハ之ヲ現行ノ徵兵令

比スレバ蓋シ甚タ今日ノ事勢ニ適スル者アルナリ何トナレバ今般ノ徵兵令改正ハ是レ佛制ヲ變シテ李制トナシタルヲ以テナリ是レ我カ兵士ヲシテ名實相稱フノ全國軍タラシムルノ功アルヲ以テナリ

右 佛制ノ批評及ヒ改正徵兵令ノ利

吾人ハ已ニ英佛李三兵制ノ利害得失ヲ論議シテ殆ント餘蘊ナシト信スルナリ然レトモ世間往々不穩當ノ説ヲナシテ以テ人ヲ誤マルモノアリ故ニ余ハコレヨリ進ンテ謬論ノ二三ヲ擊碎シテ讀者ニ示メスアラントス

或人吾人ニ對シテ駁撃ヲナシテ曰ワク夫レ人各々天賦ノ權理アリ又各々天賦ノ自由アリ然リ而シテ政府ハ素ヨリ吾人ノ由テ以テ吾人ノ權理ト自由トヲ擁護スル所トス然ルヲ若シ此政府ニシテ人民ヲ強イテ兵役ニ就カシメ毫モ其欲スルト欲セサルトヲ顧ミスンバ是レ則チ

政府カ其本分ヲ忘却シテ其ノナス。當カラサル所ヲオス者ナリト言ワサルヲ得サルナリ是ヲ以テ英國政府ノ如ク其人民ヲ許シテ其欲スル所ニ從カヒ或ハ兵士タラシメ或ハ兵士タラサラシムルハ眞個ニ人民ノ自由ト權理トヲ重ニスル所以ニシテ我輩ノ採テ以テ模範トナサル可カラサル所トス之ニ反シテ魯ヤ李ヤ埃ヤ伊ヤ其政府ハ人民ヲ強迫シテ其兵役ニ就カシメ之ニ許ルスニ應否ヲ言フノ自由ヲ得セシメサルハ正ニ政府ノ政府タル所以ノ令徳ヲ失フ者トス是ヲ此レ察セス漫リニ我邦ヲシテ兵制ヲ英ニ取ラス却ツテ之ヲ李ニ取ルハ誤謬ノ最モ謬誤ニシテ之ヲ論スル者ハ則チ吾人ノ自由權理ヲ保護スルノ政府ニ説キテ之ヲ妨害セシメントスルノ人ナリト

答ヘテ曰ワク此ノ如キ論ハ西洋諸國ニアリテ行ナワル、少ナシトナサス夫ノ碩學鴻儒モ輒モスレバ知ラス識ラスノ際此誤謬ニ陷ヒルコ

往々之アリ然リ而シテ本邦ニ於ケルモ亦タ未タ其人少ナシト云フヲ得サルナリ故ニ一言以テ之ヲ正タスアラントス夫レ自由ナル者ハ則チ手段ニシテ幸福ナル者ハ則チ目的ナリトス蓋シ世人ガ其ノ謂ワユル言論ノ自由ヲ得ンコト欲シ産業ノ自由ヲ得ンコト願ヒ其他人文ノ自由ヲ得ンコト望ム所以ハ何ノ邊ニアル乎他ナシ彼若シ之ヲ得ルアラバ則チ爲メニ其幸福ヲ増加スルヲ期スルアレバナリ恰カモ人ノ其金錢ヲ欲スルヤ金錢其物ヲ欲スルニアラズ苟シクモ之アラバ則チ一般有形上ノ幸福ヲ増ス所以ヲ知ルニ出ツルト同一ナリ然ルニ夫ノ重金主義ガ猶チ未タ其跡ヲ歐洲諸國ニ絶タサルノ時ニアリテヤ英人ヤ佛人ヤ阿人ヤ葡人ヤ皆ナ是レ以爲ラシ金錢ハ則チ富ミ也富ミハ即チ金錢也人類ガ有形上ノ幸福ヲ充タス者ハ金錢ノ外ナシト是故ニ我が輸出ノ輸入ニ超過シテ一萬磅ノ金錢ヲ得ルアラバ人之ヲ稱シテ貿易



我ニ一万磅ノ利アリト云ヒ輸入ノ輸出ニ超過シテ一万磅ヲ拂フトキハ人之ヲ呼ンデ貿易我ニ一万磅ノ損失アリトナス蓋シ思ワサルノ甚シキ者ト云フ可シ夫レ貿易ノ利益タル何ニ在ル乎他ナシ人類ノ有形上ノ幸福ヲ増加スルニアリ然リ而シテ金錢ナル者ハ之ヲナスノ一手段一媒介タルニ過キサルナリ是故ニ若シ時アリテ金錢ヲ用ヒサルヲ可トスルアラバ之ヲ用ヒスシテ貿易ヲシテ可ナリ否ナ假令金錢カ全然其跡ヲ世間ニ絶ツニ至ルモ貿易ハ依然トシテ行ナワル、アテントス是ヲ此レ察セズ金錢ヲ得ルヲ以テ外國貿易ノ目的トナシ之ヲ得ルノ多少ニ因テ貿易ノ損益ヲ量ルハ實ニ是レ手段ト目的ト混同シタル者ト言ワサルヲ得ス今日ヨリシテ之ヲ見レバ亦タ甚タ笑フ可キカ如シ然レトモ論者カ政府ヲ以テ其ノ所謂ユル權理ト自由トヲ保護スルノ義務アリトナシ又タ人ヲ強イテ兵役ニ就カシムルヲ見テ以テ政府

ノ政府タル所以ヲ喪フノ所爲トナスハ大ヒニ昔人カ金銀ヲ得ルヲ以テ貿易ノ目的トナシタルト相類シテ寧ロ手段ヲ以テ目的トナスノ流謬ニ陷ヒリタル者ト言ワサルヲ得サルナリ何トナレバ自由ヤ權理ヤ皆ナ是レ吾人ノ幸福ヲ増進スルノ手段タルヲ得テ始メテ貴重ス可キ所アリ若シ夫レ草昧野蠻ノ時代ニ於ケルガ如ク自由ハ却ツテ一國ニ害アルカ如キ場合アラバ則チ之ヲ壓シテ可也又或ル自由ニシテ一國ニ害アル者アラバ則チ之ヲ抑ヘテ可也然ルニ世人輒モスレバ謂ヘテク自由ハ即チ幸福ニシテ自由也ト故ニ彼レ苟クモ自由ノ束縛セラル、ヲ見ルヤ直チニ之ヲ見テ以テ不可ナリトナシ又之カ東縛ハ果シテ國ニ益アリヤ將タ害アリヤヲ問ワサルナリ想フニ夫レ誤マレリ矣若シ論者ノ説ニ因テ之ヲ推セバ政府ハ人民ニ與フルニ免税ノ自由ヲ以テセサルヲ得ス然レモ政府若シ此自由ヲ與フルアリトナサン乎

人皆ナ納稅ヲ嫌忌シ爲メニ政府ヲシテ自ラ支フル能ワサルニ至ラシムルナラン故ニ政府之ヲ與ヘス論者モ亦タ之ヲ咎メサルニアラスヤ然ラバ政府假令免役ノ自由ヲ抑ユルモ若シ之ヲ抑ヘテ却ツテ一國ニ益アラバ之ヲ抑ユルニ於テ何ノ妨ケカ之レアラン然リ而シテ之ヲ抑ユルハ果シテ世ニ益アル乎曰ワクアリ何トナレバ假リニ人民ヲシテ此自由アリトナサン乎治世ニ亂ヲ忘レサルハ人情ノ能クシ難キ所ナルカ故ニ人民ハ兵馬ノ事ヲ把リテ之ヲ一部少數ノ手ニ委任スルニ至ラン果シテ然ラバ一國ノ權理ト自由トハ知ラス識ラスノ際武人ノ襲撃スル所トナリ或ハ外敵ノ侵凌スル所トナルノ恐アレバナリ此時ニ當リテヤ假令金科玉條ノ萬國公法アリトスルモ又憲法アリトスルモ必ラスヤ其勢力ナカラントス其理他ナシ凡ソ法ナル者ハ固是レ死物ニシテ人力ヲ須チテ始メテ行ナワル、者アルカ故ニ全國ニシテ其武

甚タ強ヨク之ニ戾ルノ暴奸ヲシテ自ラ警戒セシムルニ足ルノ力ヲ有スルニアラサルヨリハ何ソ一部少數ノ同胞ニ對シ或ハ外國ニ對シテ其自由ト權理トヲ全フスルコトヲ得ンヤ則チ憲法ト萬國公法トヲシテ實際ニ行ワシムルヲ得ンヤ然ラバ則チ佛制ヲ變シテ字制トナスノ事ハ大ヒニ吾人々類ノ獨立ト幸福トヲ全フスル所以ニシテ論者ノ憂フル所ト正ニ相反スル者アルナリ

## 右 駁論ノ一并ヒニ辨白

或ハ又將サニ駁撃ヲナシテ言フソトス夫レ能クスルト能セサルトハ才力ノ多少或ハ体力ノ大小ニ是レ因ル可シト雖トモ已ニ之ヲ能クシ而シテ之ヲナストナサバハ人々ノ方寸ニアリテ定マル矣蓋シ人類ハ凜乎一片ノ精神ヲ具有スルノ活物ナリ故ニ人自ラ其力ヲ盡スコトヲ欲セスンバ他人豈ニ得テ之ヲシテ其力ヲ盡サシム可ケンヤ然ラバ

則チ政府ノ力固ヨリ能ク人民ヲ驅リテ以テ兵役ニ就カシムルヲ得可  
 シト雖トモ今日ニアリテ免役料ヲ拂フテ兵役ヲ免カレンコトヲ思ヒ或  
 ハ某々ノ學校ニ入リテ兵役ヲ遁カレンコトヲ望ム如キノ人民ハ假令一  
 且徵兵令ノ改正ニ遭遇シテ兵營ニ入レリトスルモ是レ固ヨリ已ムヲ  
 得サルニ出テ、中心慨フ所アラサルカ故ニ其才ト能トハ將サニ顯ワ  
 レサラントス甚シキニ至リテハ遠ク遁逃シテ外國ニ移住スル者アル  
 ニ至リ爲メニ本邦ノ才智ト熟練トヲシテ外國ノ利スル所タラシムル  
 モ未タ知ル可カラサルナリト  
 答ヘテ曰ワク之ヲ諸國ノ歴史ニ徵スルニ夫ノ人民カ兵役ヲ忌避スル  
 ノ極或ハ外國へ移住シ或ハ自ラ毀傷シテ以テ之ヲ免カル、カ如キノ  
 實例ハ余レ千八百七十年前ノ佛國兵制ノ如ク免除ノ特令ヲ設クル甚  
 タ多キノ國ニ於テ之ヲ見ルコト多ク却ツテ之ヲ設クル甚タ少ナキノ國

ニ於テ之ヲ見ルコト鮮ナシ矣今ヤ願ミテ何カ故ニ其レ然ル乎ヲ考フル  
 ニ蓋シ種々ノ原因アラソ然レトモ其ノ較著照明ナル者ヲ問ヘバ曰ワ  
 ク李制ニ從ヘバ全國皆ナ兵ニシテ或ハ免カレ或ハ免カレサルノ不公  
 平ナシ然レトモ佛制ニ從ヘバ或ハ免カレ或ハ免カル、ヲ得サルノ不  
 公平アル所以ニ出ツル者ノ如シト請フ其理由ヲ述ベソ凡ソ佛制ヲ用  
 ユルノ國ニアリテハ苟シクモ識アリ財アル者ハ皆ナ能ク兵役ヲ免カル  
 、ヲ得テ唯タ無識無産ノ徒獨リ兵營ニ入ルノ勢アリ然リ而シテ其ノ  
 兵營ニ入ルヤ決シテ擇フ所アリテ然ルニアラス萬已ムヲ得サルニ出ツ  
 ルナリ例ヘバ免役料ヲ拂ワソ手身ノ貧ナルヲ奈セン某々學校ニ入ラ  
 ソ手身ノ識ナキヲ奈セン是ニ於テ乎寸進尺退躊躇彷徨以テ兵營ニ入  
 ル其情恰カモ牛羊ノ屠所ニ赴クノ時ノ如シ之ニ反シテ苟シクモ識ア  
 リ財アル者ハ常備兵タルヲ免カレ從ツテ豫備兵タルヲ免カレ後備兵

タルヲ免カル、カ故ニ自己ノ職業ヲ廢シテ兵術ヲ學フノ義務ナク又一旦事アルニ逢フト雖トモ驟カニ干戈戎劍ヲ事トスルノ義務ナキナリ此義務ハ之ヲ一種ノ人民ニ委託シ去リテ亦顧ミル所ナシ是ニ因テ之ヲ見レバ富アリ學アル者ハ兵役ヲ免カレ富ナク識ナキ者獨リ兵營ニ入ル其ノ入ルヤ擇フ所アリテ然ルニアラス眞ニ萬已ムヲ得スシテ然カリ然カラバ則チ夫ノ無識無財ノ人民豈ニ能ク心ニ快然タルヲ得可ンヤ況ンヤ兵士タル者ハ名譽ノ點ヨリシテ見ルモ亦タ給料ノ點ヨリシテ得ル所決シキ多キヲ能ワサルニ於テ乎則チ不快ノ余リ或ハ自己ノ身体ヲ毀傷シテ以テ不具廢人トナリ或ハ自己ノ身体ヲ毀傷スル以テ天涯ニ論落スルニ至ルナリ嗚呼人誰レカ自己ノ身体ヲ毀傷スルヲ欲セン乎又誰カ自己ノ鄉國ヲ去ルニ忍ヒンヤ又何ゾ鄉國ノ獨立ヲ維持スル爲メニ自ラ兵士タルハ理ノ當サニ然ル可キ所タルヲ解セサ

ル者アソノヤ彼己ニ自ラ兵士タルヲ辭セス然ルニ猶チ郷里ヲ捨テ身体ヲ傷フノ事ヲナシテ兵役ヲ免カレントスルアルハ何ニ因ル乎曰ワク是則チ或ハ免カレ或ハ免カレサルノ不公平アルニ職由スルナリ然リト雖トモ今日ノ佛國ヤ今日ノ李國ヤ今日ノ瑞國ヤ今日ノ米國ヤ其兵營タル必ラスシモ一種ノ人民ノ淵藪タルニアラスシテ富人モ亦タアリ貧人モ亦アリ學者モ亦アリ農アリ工アリ商アリ甲縣人アリ乙縣人アリ北方ノ人アリ南方ノ人アリ改進黨アリ帝政黨アリ士族アリ又華族アリ免除ノ特令ヲ設クル少キノ國ニアリテヤ兵營ガ無智無財者流ノ巢窟タラサルヤ此ノ如シ加フルニ兵役ナル者カ獨リ無智無財者流ノ專務タラサルヤ又此ノ如シ是故ニ此ノ如キノ諸國ニアリテハ人民皆チ自ラ養フテ兵營ニ入り以テ自國ヲ保護スル所以ノ法策ヲ學ビ其極遂ニ兵役ヲ以テ一箇ノ權利トナスニ至ル是ヲ以テ此ノ如キノ國ニア

リテハ兵役ヲ免カル、爲メニ身体ヲ傷フ者少ナシ又外國へ移住スル者少ナシ假令之アルモ佛制諸國ノ實例ニ比スレバ則チ甚タ少ナシ蓋シ人ノ情性自ラ此ノ如キ者アルナリ例へバ一人アリ日々一室ニ入りテ二三ノ子弟ヲ教ユ然リ而シテ室ノ中央ニ存在スル暖室爐ノ火ガ消滅スルアルカ毎ニ常ニ甲或ハ乙ニ命シテ之ヲ焚カシメ復タ毫モ他ヲ役セストナサン乎此二人ノ者豈ニ心ニ慊然タルヲ得可ケン乎教師若シ今日ハ甲ニ命シ明日ハ乙ニ命シ明々日ハ丙ニ命シ丁ニ命シ戊ニ命シ其間偏頗ノ所爲ナキニ於テハ一人トシテ心中不平ヲ抱ク者ナク欣々然トシテ師ノ命是レ從フ可キナリ此事ヤ固ヨリ小ナリト雖トモ讀者若シ能ク之ヲ玩味セバ亦以テ我意ノ存スル所ヲ知ルニ足ラントス是ニ因テ之ヲ見レバ本邦今日ノ兵制ハ美ナラサルニアラスト雖トモ百年ノ久サシキ却ツテ論者ノ憂ルフルヲ引キ起コサン然レトモ若シ

之ヲ變シテ孛制ニ則ルアラバ論者ノ憂フル所ノ如キハ必ラスヤ滅スルアラントス但シ更ニ之ヲ變シテ英制トナスアラバ論者ノ憂フル所ハ固ヨリ更ニ減セン然レトモ英制ハ自他ノ諸點ニ於テ孛制ニ劣ルアルカ故ニ我之ヲ採ルヲ得サルナリ讀者之ヲ諒セヨ

## 右 駁論ノ二并ヒニ辨白

或ハ又將サニ駁撃ヲナシテ言ワントス夫レ人誰レカ惡食惡衣ヲ好ミ錦衣玉食ヲ惡ム者アラシク然レトモ事實ニ就イテ之ヲ見レバ人ノ錦衣玉食ヲナス者少ナク惡衣惡食ヲナス者多キハ何ニ因ル乎他ナシ彼固ヨリ錦衣玉食ヲ惡ンテ惡衣惡食ヲ好ムニアラサルナリ只夫レ錦衣玉食ハ其價貴ク惡衣惡食ハ其價賤シキアルカ故ニ彼已ムヲ得ス錦衣ヲ捨テ、布衣ヲ取り玉食ヲナスシテ糟糠ヲ甘シトスルナリ是レ又怪シムニ足ル者ナシ若シ二者ヲシテ同一ノ價ヲ有セシメバ人ノ錦衣ト

玉食トナ用ヒサルハ則チ愚ナリ然レトモ其價ヲシテ高低アラシムル  
 以上ハ彼ノ之ヲ取ラサルモ亦タ未タ遽カニ難ス可カラサル所アラソ  
 我が兵制ニ於ケルモ然ルアリ若シ夫レ今日ト同一ノ費用ヲ以テ全國  
 軍ヲ起スヲ得バ蓋シ我兵制ヲ變シテ孛制トナスハ固ヨリ當然ノ事ナ  
 リト信ズ然レトモ若シ夫レ然ラズシテ今日ニ加フルノ費用ヲ出タス  
 ナ須チテ始メテ此兵制ヲ維持スルヲ得ルトナサン乎假令今日ノ孛制  
 ハ今日ノ日本ノ兵制ニ優ルコト萬々ナリトスルモ未タ遽カニ採用ス可  
 カラサル者アリ今ヤ顧ミテ費用ノ一點ヨリシテ之ヲ見レバ孛制ハ決  
 シテ佛制ト同一ノ費用ヲ以テ之ヲ施コスヲ得サルナリ何トナレバ若  
 シ今日ノ兵制ヲ改良シテ孛制ニ則ルアラソ乎年々徴兵年齡ニ適中ス  
 ル者ハ蓋シ今日ニ三倍四倍スルニ至リ其費用ヤ從ツテ今日ニ三倍四  
 倍スルニ至ル可ケレバナリ然ラバ則チ假令彼ノ兵制ヲシテ我兵制ニ

勝ルコト萬々ナラシムルモ未タ容易ニ採用ス可カラサルニアラス乎  
 答ヘテ曰ワク若シ論者ノ言ノ如ク兵制ノ改良ハ費用ヲ増加シテ始メ  
 テ行ワル、ヲ得バ我輩ト雖トモ豈ニ驟カニ之カ改良ヲ唱ヘンヤ然レ  
 トモ余若シ論者ニ示メスニ其言ノ必ラスシモ是ナラサル所以ヲ以テ  
 セバ彼モ亦タ大ヒニ悟ル所アラソ歟夫レ常備ノ年限ヲ短縮スルハ則  
 チ同一ノ費用ヲ以テ孛制ヲ行フノ一手段ナリ其理他ナシ例ヘバ今日  
 ノ常備軍ヲ以テ三萬人トナシ其レ之ヲ養フノ費用ヲ以テ若干ナリト  
 ナシ現役ノ年限ヲ以テ三年トナシ年々新タニ徴兵適齡ニ達スル者ヲ  
 以テ一萬人トナセヨ又タ一旦徴兵令ノ改正アリタルカ爲メニ年々新  
 タニ徴兵年齡ニ達スル者カ増加シテ三萬人ノ多キニ至レリト假定セ  
 ヨ此時ニ當リ若シ同一ノ費用ヲ以テ之ヲ養ワントセバ須ラク三年ノ  
 年限ヲ減シテ一年トナセバナリ假リニ新タニ徴兵年齡ニ達スル者ヲ

シテ年々四萬人ナラシメバ年限ヲ短フシテ九月トスレバ可ナリ若シ  
 之ヲシテ年々五萬人ナラシメバ七ヶ月之ヲ二萬人ナラシシメバ一ヶ  
 年半トス可シ是ニ因テ之ヲ推スニ苟クモ能ク年限ヲ短縮スルヲ得ル  
 場合ニアリテハ同一ノ費用ヲ以テ人ヲ養フコト愈ヨ夫レ多キヲ得ルノ  
 場合ナリ然レトモ若シ熟練ノ一點ヨリ觀察シ來リテ尙更ニ年限ヲ短  
 縮スル能ワサルノ場合ニアリテハ則チ奈セン曰ワク此ノ如キトキハ  
 又策ヲ抽籤ニ取ル可シ否ラスンバ應試ノ体格ヲ高等ニス可シ但シ瑞  
 西ノ如キハ應試ノ体格ヲ定ムル甚タ高等ナラス故ニ同國ニアリテ合  
 格スル者モ亦タ多シ夫ノ字ノ如キ佛ノ如キニ至リテハ体格較々高等  
 ニシテ合格スルモ亦タ少ナキカ如シ蓋シ本邦ト雖トモ若シ兵員ヲ  
 増サントスレバ体格ノ度ヲ低フス可シ之ヲ減セントセハ則チ体格ノ  
 度ヲ高フス可キナリ夫レ斯クノ如キノ理由ナルヲ以テ若シ徵兵令ノ

改正アリタルカ爲メニ年々新タニ徵兵年齢ニ達スル者ハ増加シテ三萬  
 人トナリタリト雖モ其年限ハ又タ短縮ス可カラストナシ其費用モ亦  
 タ増減ス可カラストナサバ吾人ハ則チ体格ヲ高等ニシ或ハ抽籤ノ法  
 ヲ用ヒ三萬ヲ減シテ一萬トナスアランノミ斯クノ如クセバ費用ヲ増  
 加セズ年限ヲ短縮セス而モ猶チ能ク學制ヲ施行スルヲ得ルニアラス  
 ヤ讀ンテ此ニ至リ或ハ將サニ言ワントス苟クモ兵員ヲ増加セサルヨ  
 リハ假令佛制ヲ變シテ學制トナスモ何ソ我ガ兵ヲ稱シテ全國軍ト呼  
 フヲ得ンヤト此論ヤ一理ナキニアラサルカ如シト雖トモ然レトモ子  
 細ニ之ヲ觀レバ又議ス可キ者アルナリ何トナレハ假令常備軍ノ員數  
 ハ今日ノ日本ニアリテモ徵兵令改正ノ明日ニアリテモ相異ナルナシ  
 ト雖トモ其性質ニ至リテハ大ヒニ異ナルアルヲ以テナリ言ヲ易ヘテ  
 之ヲ言ヘバ佛制ヲ用ユル今日ニアリテハ兵營ナル者ハ自ラ一種ノ人民

ノ出入スル所ナリ然レトモ季制ヲ用ユルノ明日ニアリテハ常備軍ナ  
ル者ハ僅カニ全國民ノ一部ナリト雖トモ然レトモ其之ヲ分析スレバ  
一種ノ成分ヨリ成ルニアラスシテ千差萬別ノ元素ニ成ルアラントス  
レバナリ即チ無識無學ノ者獨リ多ク兵營ニ入ラス夫ノ識アル者財ア  
ル者士族ヤ華族ヤ農ヤ工ヤ商ヤ南方ノ人ヤ北方ノ人ヤ甲藩人ヤ乙藩  
人ヤ武人ヤ文人ヤ皆ヲ集ツテ之ニ入ルナリ是ニ因テ之ヲ見ルニ免除  
ノ特令ヲ設クル愈ヨ少ナケレバ假令年限ヲシテ今日ノ如クナラシメ  
其兵員ヲシ今日ノ如クナラシムルモ猶ホ其兵ヲ稱シテ全國軍ト稱ス  
可シ蓋シ其兵ノ由テ來ル所ハ一種ノ人民ニアラスシテ廣ク全國百般  
ノ人民ニアルヲ以テナリ其利害得失ハ判然分ル、所アルニアラスヤ  
況ンヤ年限ヲ短縮スルヲ得テ今日ニ三倍四倍スルノ兵士ヲ出タスニ  
今日ト同費用ヲ以テスルヲ得ル場合ニ於テヤ即チ一騎當千ノ主義

ヲ廢シテ衆寡不敵ノ主義ヲ取ルヲ得ル場合アルニ於テチ乎

## 右 駁論ノ三并ヒニ辨白

或ハ又將サニ駁撃ヲナシテ言フソトス夫レ季制ノ利益アル蓋シ一ニ  
シテ而シテ足ラス然レトモ其中ニ就イテ殊ニ大ナル者ハ多勢無勢主  
義ヲ天下ニ施コスヲ得ルニアリ然リ而シテ同一ノ費用ヲ以テ前ニ二  
倍三倍スルノ兵士ヲ養ナラントセバ夫ノ年限ヲ短縮スルノ外ナシ是  
故ニ若シ出來得可キナラバ常備年限ヲ短フシテ其兵員ヲ増シ年々兵  
營ヲ出ツル者ヲシテ今日ニ三四倍セシム可キナリ次ニ凡ソ強迫制度  
ノ弊タル人民ヲシテ一時其業ヲ廢セシムゾニアリ例ヘバ農ハ其田畝  
ヲ離レ鋤鋤ヲ擲チ商ハ店頭ヲ去リ珠算ヲ抛チ書生ハ机床ヲ去リ筆研  
ヲ棄テ以テ各々戎劍ヲ事トスルナリ爲メニ文事ハ進歩ヲ妨害スル少  
ナシトナサズ然リ而シテ此弊ヲ減少スルノ法ハ年限ヲ短縮スルニア



リ是故ニ若シ出來得可キナラハ年限ヲ短縮シテ此弊ヲ少ナフス可キナリ今ヤ顧ミテ三年ノ年限ハ得テ短縮ス可キ乎ト問フニ是レ得テ短縮ス可キ者アルカ如シ但シ熟練ノ一點ヨリシテ見レバ英ノ十二年ハ佛ノ五年ニ勝リ佛ノ五年ハ李ノ三年ニ勝リ李ノ三年ハ猶ホ短少ナル者ニ勝ルアラシ然レトモ自他ノ諸點ヨリシテ見レバ英兵ハ遙カニ李兵ニ及バサル者アルガ如シ然ラバ則チ期限ヲ短縮シ尋常普通ノ訓練ヲ授ケ大ヒニ兵士ヲ出タスノ事ハ期限ヲ永フシ高等ノ訓練ヲ教ヘ少シク兵士ヲ出タスニ勝ルナリト

答ヘテ曰ワク凡ソ常備ノ期限ハ永キニ過ク可カラズ短カキニ過ク可カラズ短カニキ過クルモノハ其兵甚タ弱ク毫モ學バサル者ト相去ル幾クモナケレバナリ然リ而シテ期限ノ長短ハ素ヨリ人ニ因テ異ナルヲ要ス豈ニ一定ノ期限ヲ把リテ之ヲ萬人ニ加ヘテ可ナランヤ故ニ改

正徵兵令ニ因レバ凡ソ三年ヲ以テ常備ノ年限トナスト雖トモ人ノ何者タルヲ論セス皆十三年ノ服役ヲナサシムルニハアラサルカ如シ是レ想フニ普通ノ見識アル者ハ普通ノ兵術ヲ學フニ於テ必ラスシモ三年ヲ費ヤスヲ要セサルカ故ナラシ唯タ夫レ從來ノ經驗ニ徵スルニ兵營ニ入り來ル人ニシテ尋常普通ノ教育ヲタモ受ケサル者未タ少シト言フ可カラズ甚シキニ至リテハ目ニ伊呂波ヲ辨セズ宵ニ一二三ヲ貯ヘサル者アリト云フ是故ニ若シ此ノ如キノ人ニ授クルニ兵術ヲ以テセントスルヤ三年ノ期限ハ未タ長カシト云フヲ得サルナリ蓋シ今日ノ兵術ハ昔日ニ比スレバ甚タ繁雜緻密ニシテ只タ僅カニ其楷梯ヲ授ケントスルモ猶チ一方ニ向ツテハ兵法ノ原理ヲ教ヘ一方ニ向ツテ實地演習ヲ授ケサル可カラズ然リ而シテ已ニ事ノ道理ヲ知り後チニ至リテ之ヲ實地ニ施コスハ甚タ易シ然レトモ兵營ノ規則ヲ讀ム能ワス

兵書ノ講義ヲ解スルニ苦シムカ如キノ人ヲシテ僅々タル一二年ノ間ニアリテ兵法ヲ學バシムルハ實ニ夫レ難タシ但シ此ノ如キ人ト雖トモ若シ長ク兵營ニアルアラバ自ラ慣習ニ因テ兵術ニ練熟スルナル可シト雖トモ僅々二三年ノ間ニアリテ之ヲ學バントスルヤ慣習ノ力ハ恃ムニ足ラズ只智識大ヒニ恃ム可キ所アリ是故ニ無學ナル者カ三年ノ服役ヲナスト識見アル者が二年或ハ一年有半ノ服役ヲナスト其兵術ニ至リテハ優劣アル可カラサルナリ夫ノ改正徵兵令ニ因ルニ某々ノ官立學校ヲ卒業スル者ハ一年ノ服役ニ就カシムルノ場合アリ是レ蓋シ余カ上來論スル所ノ理ニ基ツキタル者ナラン歟世人或ハ曰ワク是レ至ク學者ニ與フルニ特典ヲ以テシ人ヲシテ學問ニ志サ、シムルノ一手段トナスナリト此言ヤ誤マレリ何トナレバ今日ニアリテ振起獎勵ス可キ者豈ニ獨リ學問ノミナラン農ヤ工ヤ商ヤ技藝ヤ美術ヤ皆

ナ然リ實ニ世ニ益アルト委靡振ワサルトノ二點ヨリシテ見レバ彼此ノ間決シテ軒輊ヲ置ク可カラズ然ラバ則チ政府豈ニ一チ揚ケテ他チ抑ユルノ事アラシヤ或ハ又曰ワク是レ特ニ官チ重ンスルニ出ツルナリト是又誤マレリ政府豈ニ官ニ幸ヒシテ民ニ幸ヒセザルカ如キ偏頗ノ所爲アル可ケンヤ要スルニ學者ハ其専門ノ何タルチ問ワズ農工商ニ比スレバ普通ノ教育ヲ有スルヤ多シ是レ則チ一ハ服役ノ年限チ短フシ他ハ服役ノ年限チ長フスル所以ナランカ而シテ官立學校ノ卒業生ト私立學校ノ卒業生ト服役ノ期限チ異ニスルアル所以ハ蓋シ前者ノ學力ハ知り易ク後者ノ學力ハ知り難キチ以テナラン若シ好方便アリテ容易ニ後者ノ學力ヲ計ルチ得バ官立學校ノ卒業生ト私立學校ノ卒業生トハ同一ノ所置ヲ受クルニ至ルアラント臆測スルナリ果シテ然ラバ智識アル者ハ服役ノ年限チ短フシ智識ナキ者ハ年限チ永フス

ル所以ハ則チ智識アル者ハ兵術ヲ學フニ於テ易ク智識ナキ者ハ兵術ヲ學フニ於テ苦シムノ差アルヲ以テナリ必竟スルニ常備三年ノ期限ハ永カキニ過クルカ如クナレトモ決シテ永カキニアラズ若シ無學無識ノ者ヲシテ三年以内兵役ニ就カシメバ尋常一應ノ兵術ヲモ學フ能ワサル可ケレバナリ是故ニ若シ人民ヲシテ平生ニ於テ學フ所アラシメバ當局者ハ喜ンテ期限ヲ短縮スル猶チ官立學校卒業生ノ場合ノ如クナラン況ンヤ人民ガ平生ヨリシテ兵術ヲ學ブアルニ於テ乎若シ我言ヲシテ太過ナカラシメバ我カ當局者ハ論者ト同シク多勢無勢主義ヲ取ランコトヲ思フヤ切ニシテ久サシ唯々事情已ムテ得スシテ年限ヲ短縮セサルナラン讀者之ヲ諒セヨ

## 右 駁論ノ四并ヒニ辨白

或ハ又將サニ駁撃ヲナシテ謂フントス想フニ學國人ノ性タル之ヲ他

ノ邦人ニ比スレバ自ラ殺伐ノ風ヲ帶フ者ノ如シ其極遂ニ男子ニシテ其面上ニ當リテ金創ヲ負ハサル者ハ人稱シテ以テ男子トナサス其婦女子モ猶チ此ノ如キノ人ニ配スルチ屑シトセサルニ至ル是故ニ武人ハ獨リ其權ヲ專ラニシテ文人ハ自ラ第二流ニ置カサルチ得サルナリ是チ以テ識者學士ガ武人ノ抑制ヲ憤フルアリテ竊カニ遁レテ外國ニ去ルカ如キノ現象ヲ致スナリ豈ニ文化ノ爲メニ長大息セサルチ得ンヤ然リ而シテ其ノ然ル所以ヲ探索スルニ是レ政府カ全國ヲ擧ケテ兵トナセルヨリシテ自ラ此殺伐ノ氣風ヲ養成シタルナリ慎シマサル可カラズ然レドモ夫ノ學國ノ如キハ續紛騷擾ノ間ニ介立スルチ以テ若シ其兵ニシテ弱クンバ其國土ヲ蹂躪セラル、ノ恐ナキニアラサルナリ其兵ヲシテ強カラシムレバ假令爲メニ文明ノ進歩ヲ妨害シ殖産ノ發達ヲ碍障シ自由ノ主義ヲ抑制スルノ勢アルモ他國ヲ并吞混一ス

ルノ事未タ必スシモ期シ得可カラサルニアラサルナリ是故ニ李制ナ  
 ル者ハ殺伐ノ氣風ヲ養成スルノ傾向アルニモ拘ワラス李國人民ノ之  
 ナ用ヒテ動かサルハ決シテ策ノ失セル者ト言フヲ得サルナリ況ンヤ  
 李ト佛トノ關係ハ實ニ是レ水火相容レサルノ情アルニ於テテ乎蓋シ  
 佛兵ガ李佛戰爭ニ於テ李兵ノ爲メニ敗ラレ之カ爲メニ其土地ヲ割カ  
 レタルノ遺恨ハ鬱勃トシテ佛國人民ノ骨間ニ横ワルアルヲ以テ彼レ苟  
 クモ其國力ヲ恢復スルヲ得時機ノ乘ス可キアルニ遭遇セバ直チニ進  
 撃シテ青史千年ノ恥辱ヲ雪カンコトヲ祈ル者皆ナ然リ眞個ニ佛國ニア  
 リテハ東西ヲ辨別セサルノ小兒モ亦タ能ク李國ヲ讐敵視スルアルナ  
 リ之ヲ喻フレバ今日ノ佛國ハ父ノ仇ヲ報セントスルノ少年ノ如シ彼  
 レ夙夜之ヲ忘ル、能ワスト雖トモ獨リ其筋骨猶ホ未タ軟脆ナルカ故  
 ニ若シ今マ老成ノ李國ト相戦フアラバ再タビ敗レテ地ニ塗レ重ネテ

臭ヲ青史ニ遺スノ虞アルヲ奈セン則チ人情忍フ能ワサル者ヲ忍ヒ竊  
 カニ其力ノ愈ヨ増加シテ其仇ト拮抗スルヲ得ルノ時ヲ待アルカ如シ  
 夫レ然リ然ラバ則チ李國ナル者ハ假令席卷混一ノ志ナシトスルモ猶  
 ホ其兵力ヲ増大ニシ夫ノ佛國ガ猶ホ未タ國力ヲ恢復セス猶チ未タ李  
 國ト拮抗スルヲ得サルニ先タチテ之ヲ斃シ以テ後患ヲ絶タントスル  
 ノ心アラソ故ニ李國カ全國軍ノ制度ヲ用ヒ爲メニ殺伐ノ氣風ヲ起シ  
 來ルハ亦タ已ムヲ得サルナリ然リト雖トモ英國ノ如キ日本ノ如キハ  
 其國勢大ヒニ李國ト相同シカラサル者アリ凡ソ外國ヲ襲撃スルノ目  
 的ハ種々アリ或ハ自國人民ノ利益ヲ謀ルニ出ツ或ハ自國ノ怨恨ヲ散  
 スルニ出ツ或ハ其二三ノ嗜好ヲ充タスニ出ツルアリ然リ而シテ第二  
 ノ目的ヲ以テ侵撃シ來ル者ハ是レ最モ畏ル可シトナス何トナレバ此  
 ノ如キノ兵士並ヒニ其國民ハ只タ怨ヲ復スルコト是レ思ヒ復タ夫ノ利

害損得ヲ顧ミル邊ナク國庫空乏民力疲弊ヲ慮ルノ暇ナキヲ以テ眞乎ニ斃レテ後己ムヲ期スル者ナレバナリ然レトモ第一ト第二ノ目的ヲ以テ干戈ヲ動カサントスル者ハ先ツ人民ニ示メスニ他ノ邦土ヲ取ルノ甚タ容易ニシテ且ツ利益アル所以ヲ以テセサル可カラス若シ之ヲナサズンバ人民ノ同心ヲ得テ師ヲ起スヲ得サルナリ假令之ヲ起スヲ得ルトスルモ之ヲ久サシキニ持スル能ハズ故ニ此ノ如キノ兵ハ較ヤ畏ル可カラサル所トス今ヤ顧ミテ日本ノ現状ヲ觀察スルニ他ノ強國ノ之ヲ恨ムアルナシ故ニ第一ノ目的ヲ以テ襲來スル者ハ蓋シナカラン只タ夫レ第一第二ノ目的ヲ有スル者ハ或ハ耽々トシテ我覺際ヲ窺窺スルアルヤ未タ知ル可カラス然レトモ我國ノ地勢タル四面皆ナ海ニシテ甚タ近ツキ易スカラス故ニ彼假令我國ヲ侵擊スルモ我若シ今日ノ海陸軍ヲ以テ之ヲ防禦スルアラバ彼ガ其目的ヲ達スル甚タ容易ナラサ

ラン彼之ヲナス果シテ容易ナラスンバ彼ハ之ヲ爲サ、ル可シ然ラバ則チ今日ノ兵制ハ之ヲ變シテ孛制ニ則リ夫ノ慕政殺伐ノ氣風ヲ漸ヤク將サニ絶ヘントスルニ起コシ維新文明ノ萌芽ヲ今マ將サニ長セントスルニ枯ラスヲ要セサルナリト答ヘテ曰ワク今日ノ佛制ハ昨日ノ佛制ニ比スレバ兵力上ニ於テ財政上ニ於テ政治上ニ於テ交際上ニ於テ大ヒニ勝ル所アルナリ此事タル論者カ第一知ラサル可カラサル所トス次ニ外敵ノ襲擊ヲ防禦スルハ海軍素ヨリ其力大ナリトス然レトモ海軍モ亦時ニ敗ル、アリテ外兵ヲ許シテ一國ノ中心ニ侵入セシムル恰カモ夫ノ英國海軍カ維廉第三世ノ時ニ當リテ蘭人ノ爲メニ粉碎セラレタルカ如キノ場合ハ歴史上往々之アリ是又論者ノ知ラサル可カラサル所トス次ニ此ノ如キノ時ニ當リテヤ日本ノ壯士ハ其ノ嘗テ兵役ニ在ルト否ラサルトチ問ハス

相率ヒテ殊戦ス可シ然レモ平生ニ於テ同一ノ訓練ヲ受ケサル者ハ其  
 勞ヤ大ニシテ其功ヤ少ナキヲ猶ホ佛國人民カ孛佛戦争ニ於テ共同戮  
 カシテ事ニ從フト雖モ其爲ス所自ラ一途ニ出テスシテ遂ニ敗ヲ取リ  
 タルカ如ク又タ夫ノ米國人民ガ獨立戦争ニ於テ同心共力以テ其敵ニ  
 勝チタリト雖トモ固ト是レ同一ノ訓練ヲ受ケタル者ニアラスシテ所  
 謂ル烏合ノ衆タルニ過キサルヲ以テ其獨立ヤ實ニ見ルニ忍ヒサルノ  
 艱難辛苦ノ購ヒ得タル所ナリシカ如キアリ故ニ我邦人ト雖トモ平生  
 常ニ警戒スル所アリテ以テ同一ノ普通ノ訓練ヲ受ケ以テ有事ノ日ニ處  
 スルノ計ヲナサ、ル可カラサルナリ是亦タ論者ノ察セサル可カラサ  
 ル所トス況ンヤ交通ノ便宜ハ日ニ從ツテ開ケ世界ノ廣袤ハ日ニ從ツ  
 テ縮ミ四面環海四鄰皆山モ亦タ恃ムニ足ラサラントスルニ於テ乎  
 我國勢タル此ノ如キ者ナルカ故ニ假令全國軍ノ制度ハ萬一殺伐ノ氣

風ヲ起スアリトスルモ猶ホ未タ容易ニ之ヲ行フノ非ヲ唱フ可カラサ  
 ルナリ然レトモ今我レ論者ノ爲メニ數百歩ヲ讓リ現行ノ舊徵兵令ヲ  
 以テ完全無欠寸毫モ縮伸増減ス可ラサル者トナスモ猶ホ論者ノ説ノ  
 駁セサル可カラサル者アリ何ソヤ曰ワシ孛人ノ殺伐タル氣風ヲ把リ  
 テ之ヲ孛國ノ兵制ニ歸スルコト是レナリ請フ吾人ハ先ツ理論上ヨリ  
 之ヲ駁シ次ニ事實ニ照ラシテ之ヲ難セントス夫レ銃馬ヲ以テ常職ト  
 ナス者ニシテ且ツ識ナキ學ナキ者ハ天下泰平ノ時ニアルヤ皆ナ是レ  
 無事ニ若シミ髀肉ヲ歎スルヲ免カレス此故ニ若シ此ノ如キノ人ヲシ  
 テ全國民ノ多數ヲ占ムル猶ヲ我カ維新前ノ如クナラシメバ内治ヤ外  
 交ヤ大概干戈ニ訴ヘテ以テ是非ヲ決センコトヲ思フ特ニ政府モ亦タ同  
 シク此ノ如キ傾向アルニ於テハ人民ノ氣風自ラ殺伐タラサルヲ得サ  
 ルナリ然レトモ若シ孛制ニ從カヒ國ヲ舉ケテ皆ナ兵タラシムルアラ

バ此ノ如キノ兵ハ銃馬ヲ以テ常職トナサズ故ニ自ラ殺伐戰ヲ好ムノ  
 風ナキナリ何トナレバ此ノ如キノ人ハ兵ヲ以テ常職トナサズ各々經  
 營スル所アルカ故ニ一旦戰亂干戈ノ事アラバ則チ其業ヲ廢セサルヲ  
 得サレバナリ但シ一旦事アルニ於テハ其勝背ハ則チ其父母昆弟ノ安  
 危ニ關スルカ故ニ殊力ヲ盡シテ戰ヒ夫ノ嗜好ノ爲ニシ或ハ利慾ノ爲  
 メニスル者ト曰テ同フシテ語ル可カラスト雖トモ然レトモ其初ニ當  
 リ人民ヲシテ其工場ヲ去リ其店頭ヲ去リ其田畝ヲ去リ其机床ヲ去リ  
 其書齋ヲ去リ其妻子朋友父母昆弟ヲ去リテ以テ自ラ砲烟彈雨九死一  
 生ノ間ダニ禽奔獸走セシムルモノハ眞乎ニ萬己ムヲ得サルノ大事ナ  
 ラサル可カラズ夫ノ瑣々タル小事ハ或ヒハ兵事ノ外別ニ經營スル  
 所ナク兵士ノ外別ニ往來スルナキノ兵士ヲ動カシテ干戈ヲ取ラシム  
 ルニ足ラン然レトモ決シテ全國軍ヲ動カス能ワサルナリ故ニ全國軍

ハ容易ニ戰ワズ戰ワバ則チ虎狼ノ如キノ軍ナリ然ラバ則チ殺伐戰ヲ  
 好ムノ氣風ハ之ヲ孛制ノ通弊ナリト稱ス可カラサルノミナラズ孛制  
 ハ則チ此弊ノ最モ少ナキ者ト云ワサルヲ得サルニアラスヤ是故ニ假  
 令ヒ現行ノ兵制ヲ改良シテ免除ノ特令ヲ減少スルモ豈ニ爲メニ殺伐  
 ノ氣風ヲ引キ起コシ平穩ノ事業ヲ妨害スル理アラン乎請フ吾人ハ更  
 ニ進ンテ事實ニ就ヒテ之ヲ駁シ則チ筆ヲ措クアラントス抑モ今日ノ  
 孛制タル決シテ古ニ始マルニアラサルナリ蓋シ此制度ハ一千八百十  
 四年ヲ以テ始メテ孛國ノ用ユル所トナレリ千八百十四年ニ至ル迄ハ  
 孛國ト雖トモ英國ノ如ク自由ノ制度ヲ採用シ來タレリ然リ而シテ苟  
 クモ孛國ノ歴史ヲ讀ム者ハ誰カ孛國殺伐ノ氣風ハ兵制ノ變革アリテ  
 而シテ後チニ起リタルニアラスシテ其前已ニ業ニ之有リタルヲ知ラ  
 サル者アランヤ歴史ヲ繙テ之ヲ見ヨフレデリック第二世ノ統御ノ下ニ

アリテ此氣風ハ已ニ大ヒニ發達シテ又タ蔽フ可カラサルアリタリ夫  
 レ斯クノ如ク全國軍ノ事ハ人ノ未タ夢想セサルノ前ニ於テ此氣風ハ  
 已ニ業ニ生長セリ是ヲコレ察セズ之カ長生ヲ把リテ其兵制改革ノ然  
 ラシムル所ニ歸スルハ寧ロ原因ト結果トノ順序ヲ顛倒スル者ニシテ  
 猶チ先ツ此子アリテ而シテ後チ此父母アリ先ツ此結果アリ此原因之  
 ニ從ツテ起レリト言フカ如シ或ハ又將サニ李兵ガ李佛戰爭ニ際シテ  
 若シクバ村落ニ放火シ若シクバ告ケルナキノ市都ニ就イテ巨大ノ償  
 金ヲ課シ若クバ佛ノ囚虜ヲ銃殺シタル如キ殘忍ノ所爲ヲナスヲ見テ  
 謂ワントス此事タル李國ノ兵制ニ於テ全國軍ヲ起シ以テ殺伐ノ氣風  
 チ養成シタル惡ム可キ恐ル可キノ結果ナリト此言モ亦タ議ス可キ者  
 アリ何トナレバ此ノ如キノ事ハ決シテ今日ニ始シマルニアラス李國  
 ハ其ノ猶ホ未タ此兵制ヲ施コサ、ルノ昔日ニアリテヤ却テ是レ他國

ノ囚虜ヲ銃殺スルヲ以テ軍律トナセシニアラスヤ此他當時ノ所業ハ  
 今日ニ比スレハ大ヒニ殘忍ナルヲ覺ユルナリ是ヲコレ察セス漫リニ  
 李國ノ殺伐ノ氣風ヲ把リテ之ヲ兵制ノ改革ニ歸シ此改革ハ嘉ミス可  
 カラストナスハ思ワサルノ甚シキ者ト云フ可シ吾人何ソ李制ノ爲  
 メニ其冤ヲ雪カサル可シヤ蓋シ李國カ李佛戰爭ニアリテ爲セシ所ハ  
 或ハ常ニ比スレバ殺伐殘忍ナリシナラシ然レトモ其ノ然ル所以ヲ考  
 フルニ皆ナ李制ノ然ラシムル所ニアラスシテ當時ノ兵情アリテ之ヲ  
 致シタルニアラサルヲ得ンヤ是故ニ假令當時ノ李民ガ英制ヲ採レリ  
 トスルモ亦タ此事アリタルナラシ又當時ノ李民カ佛制ヲ行ヒタリト  
 スルモ亦タ此事アリタルナラシ決シテ此氣風ヲ取リテ李制ノ結果ト  
 ナス可カラサルナリ但シ事實ニ就ヒテ之ヲ見レバ殺伐戰ヲ好ムノ氣  
 風ハ却ツテ是レ李制ノ由テ以テ起リタル原因ナリトス即チ一千八百



十二年ノ頃口夫ノ那破倫カ百合ノ國旗ヲ翻シテ六合ノ羣帝王ヲ叱咤セル時ニ當リテヤ孛國ノ人民ハ令セスシテ干戈ヲ取り自カラ募リテ全國兵トナレリ矣抑モ今日ノ孛制ハ此時ニ胚胎セリ猶ホ米國ノ全國軍ハ夫ノ英國トノ戰爭ノ世即チ肅殺慘憺ノ時ニ胚胎セルカ如キアリ此故ニ世人或ハ誤リテ謂ヘラク孛制ハ殺伐ノ氣風ト相關スル者ナリ故ニ取ル可カラズト此言ハ則チ人ヲ以テ言チ癡スルノ誤謬ト其類チ同フスルナリ若シ此兵制ヲシテ最モ善良ニシテ且ツ殺伐ノ氣風ヲ起スノ性質ヲ含蓄スルアラスンバ假令其由テ來ル所ガ歐州ノ中心ニアルモ又雲海ノ一孤島ニアルモ其ノ始メテ起レル時ハ大平ノ世ニアルモ又タ干戈ノ日ニアルモ其ノ初メテ施コサレタルハ殺伐ノ國ニアルモ又温順ノ民ニアルモ余豈ニ之ヲ顧ミンヤ直チニ之ヲ採リテ以テ本邦ノ安寧ト幸福トヲ鞏固ニセント欲スルナリ例ヘバ茲ニ人アリ

テ貧賤文盲者流ノ手ニ成リタル物品ハ其精良ナルト否ジサルトチ問ハズ吾人之ヲ用ヒスト言ハバ誰レカ其愚ヲ笑ワサランヤ但シ道理ニ於テ賤貧文盲者ノ製造セル物品ヲ用ユル者ハ則チ又自ラ貧賤文盲タラサルヲ得サラバ人ノ之ヲ用ヒサルハ是レ智ナリ然レトモ人若シ用ヒテ而カモ尙チ貧賤文盲タラサル以上ハ假令其物品カ智者ノ手ニ成ルモ愚者ノ手ニナルモ豈ニ之ヲ擇フノ要アランヤ之ヲ擇フ者ハ則チ愚ナリ夫ノ論者ガ殺伐ノ氣風ヲ嫌惡スルノ餘リ知ラス識ラス殺伐ノ結果タル孛制ト米制トヲ嫌惡スルハ大ヒニ此誤謬ニ類スル者アリ若シ孛制ナル者ヲシテ殺伐ノ風ヲ起コスノ性アラバ殺伐ヲ嫌惡スルノ人ガ之ヲ嫌惡スルノ事ハ一理ナキニアラス然レモ已ニ此性ナシト爲サハ假令其由テ來ル所ハ如何ノ邦國ニアルモ豈ニ之ヲ論スルノ要アラシヤ之ヲ論スルハ恰カモ人ノ物品ヲ買フニ當リ先ツ製造人ノ智

識道德ヲ探索スルト一般ナリ  
右 駁論ノ五並ヒニ辨白

懲兵論 終

明治十七年一月二十八日版權免許

同 年二月 出版

著述者并出版人 天野 爲之

東京神田區今川小路  
二丁目拾二番地

發行書肆

東 洋 館

東京神田區小川町  
十番地

7  
29  
200  
天

賣  
捌

九家善七

東京日本橋區通  
三丁目十四番地

賣  
捌

叢書閣

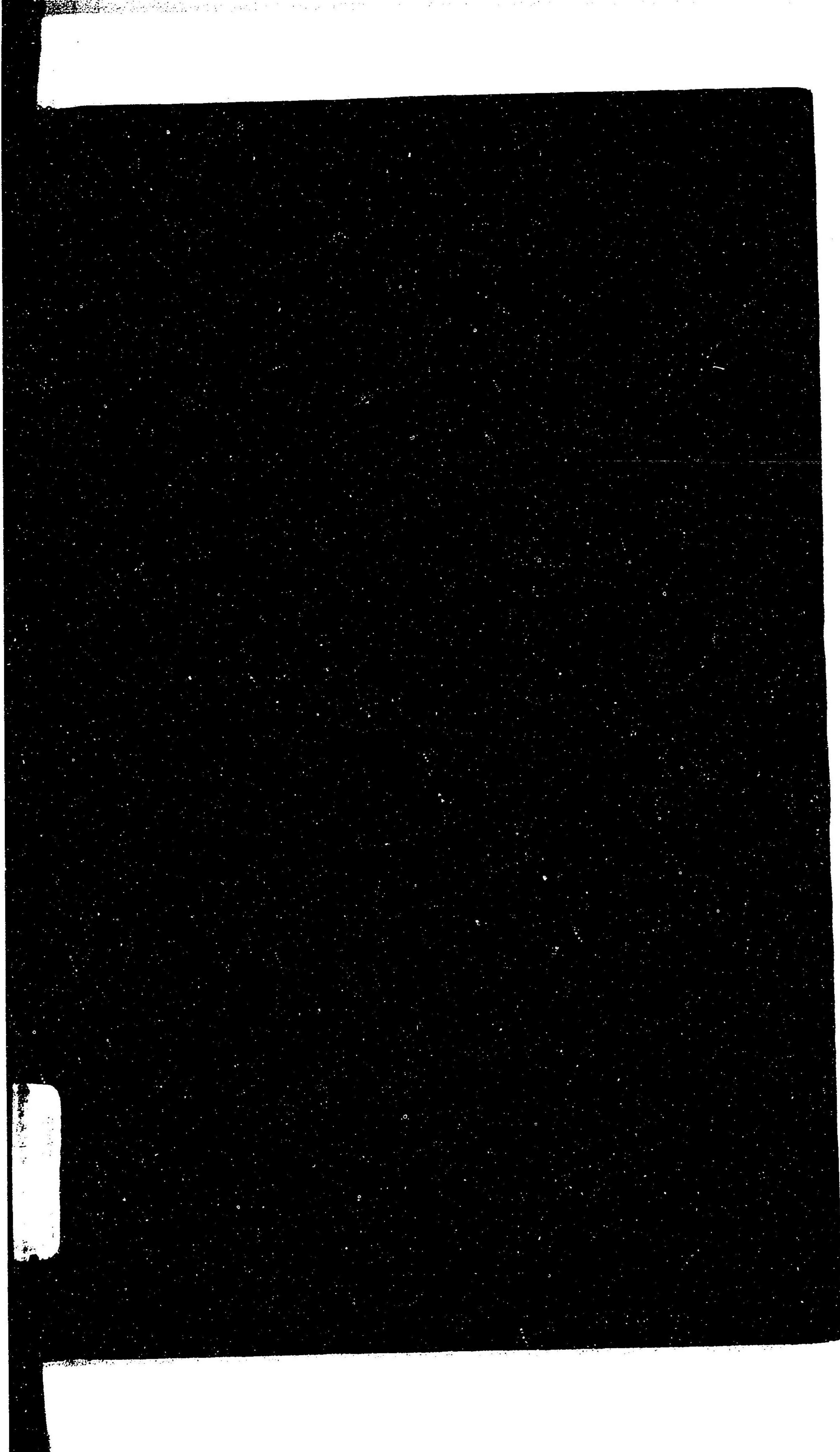
東京日本橋區南傳馬町  
壹丁目拾番地

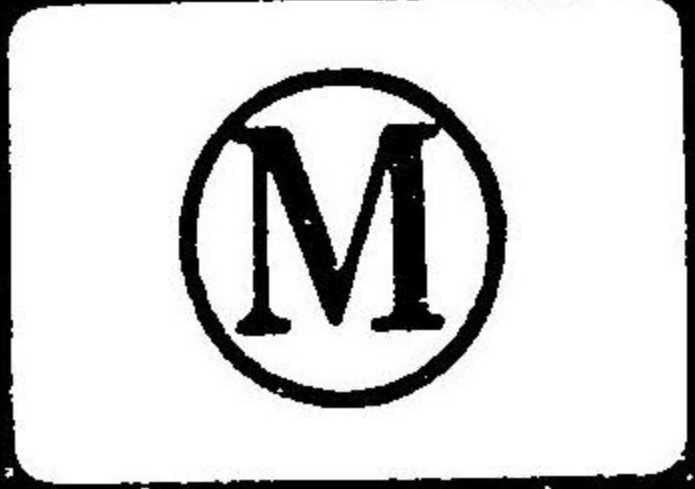
賣  
捌

秩山堂

東京日本橋區  
通三丁目

32  
173





051142-000-2

32-173

徵兵論

天野 為之 / 著

M17

BFA-0319

